

令和4年度  
静岡県訪問看護ステーション実態調査  
報告書

一般社団法人  
静岡県訪問看護ステーション協議会



# 目次

I 目的	……	1
II 調査概要	……	1
III 調査方法	……	1
IV 調査期間	……	1
V 調査結果		
1. 訪問看護ステーションの概要		
1) 設置主体	……	2
2) 同一法人の併設医療機関	……	3
3) 同一法人の併設事業	……	3
4) サテライトの設置について	……	4
5) 機能強化型について	……	5
6) 加算の届出状況	……	6
7) 職員体制	……	7
8) 看護職員の年齢構成	……	11
9) 常勤換算数と利用者数	……	12
10) 専門看護師・認定看護師・ 特定行為研修修了者の在籍状況	……	13
11) 研修の受講状況について	……	13
12) 看護学生実習の受け入れ状況について	……	14
13) 収支状況について	……	15
2. 利用者の状況		
1) 利用者の年齢・性別	……	17
2) 保険別の利用者数・訪問回数	……	18
3) 介護保険利用者の内訳	……	19
4) 訪問看護指示書の発行元	……	20
5) 令和4年6月、1か月間の新規利用者	……	21
6) 令和4年6月で終了した利用者数	……	21
7) 在宅での看取り数	……	22
i) 事業所規模別の看取りの状況	……	23
ii) 地区別の看取りの状況	……	24
iii) 在宅看取りの場所	……	25
8) 医療処置の実施状況	……	25
3. 対象者別対応状況	……	26
4. 令和3年度看護職員の就業・求人状況	……	29
5. 令和3年度看護職員の退職状況	……	31
6. 利用者からのハラスメントについて	……	35
7. 管理者について	……	36
8. 新型コロナウイルス感染症による影響について	……	38

# 令和4年度 静岡県訪問看護ステーション実態調査

## I 目的

本調査は、看護職員の年齢構成や退職の原因を含む静岡県内の訪問看護ステーションの実態を把握し、今後の訪問看護ステーション活動の発展向上に役立てることを目的とする。

## II 調査概要

- (1) 調査対象 静岡県内の現存する訪問看護ステーション 276 か所  
(東部 102 か所、中部 81 か所、西部 93 か所)  
※ 発送後 2 か所休止・廃止

【令和2年調査時：229 か所  
(東部 85 か所、中部 68 か所、西部 76 か所)】

- (2) 回答件数 260 件 (回収率 94.9%)

- (3) 調査内容
- ① 訪問看護ステーションの届出状況
  - ② 訪問看護ステーションの実施状況
  - ③ 看護職員の就業状況
  - ④ 看護職員の退職状況
  - ⑤ 利用者からのハラスメント
  - ⑥ 管理者について
  - ⑦ 新型コロナウイルス感染症による影響について

- III 調査方法 郵送配布・回収 (自記方式)

- IV 調査期間 令和4年5月18日～令和4年7月20日  
調査基準期間：令和4年6月1日～令和4年6月30日

## V 調査結果

### 1. 訪問看護ステーションの概要

#### 1) 設置主体

「株式会社・有限会社・合同会社」が148か所（56.9%）と最も多く、前回調査時より36か所増えている。その内看護師、あるいはその家族が起業している事業所数は、東部で16か所、中部で14か所、西部で4か所の合計34か所で「株式会社・有限会社・合同会社」の23.0%である。前回調査より4か所増加している。医療法人は53か所（20.4%）で前回より3か所減少している。

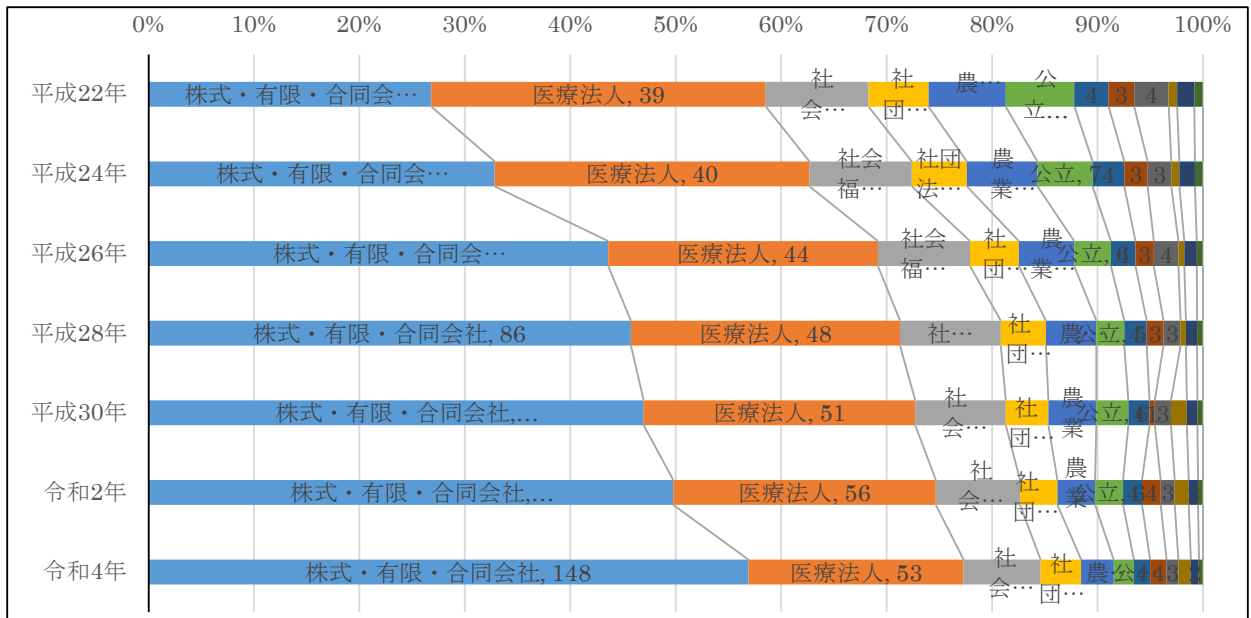
表 1-1 医療圏別・設置主体別訪問看護ステーション数 (n=260)

医療圏	公立	日赤	医療法人	医師会	看護協会	社団・ 財団法人	社協	社福法人	農協・ 農協共済	株式・有限・ 合同会社	NPO・ 協同組合	合計
賀茂			3			1				4		8
熱海伊東			2						1	8		11
駿東田方		2	8	1		7		2	2	29	1	52
富士	1		7			1		1		15		25
静岡		1	11		1		1	3	3	33	1	54
志太榛原	2		5	1			1			11		20
中東遠	2		4		3		1	1	1	11	1	24
西部		1	13			1		12	1	37	1	66
合計	5	4	53	2	4	10	3	19	8	148	4	260

表 1-2 設置主体別訪問看護ステーション数と割合 (n=260)

	今回		第6回 (R2.6)		第5回 (H30.6)		第4回 (H28.6)		第3回 (H26.6)		第2回 (H24.9)		第1回 (H22.9)	
	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合
株式・有限・合同会社	148	56.9%	112	49.8%	93	47.0%	86	45.7%	75	43.6%	44	32.6%	33	26.8%
医療法人	53	20.4%	56	24.9%	51	25.8%	48	25.5%	44	25.6%	40	29.6%	39	31.7%
社会福祉法人	19	7.3%	18	8.0%	17	8.6%	18	9.6%	15	8.7%	13	9.6%	12	9.8%
社団・財団法人	10	3.8%	8	3.6%	8	4.0%	8	4.3%	8	4.7%	7	5.2%	7	5.7%
農協・農協共済	8	3.1%	8	3.6%	9	4.5%	9	4.8%	9	5.2%	9	6.7%	9	7.3%
公立	5	1.9%	6	2.7%	6	3.0%	5	2.7%	6	3.5%	7	5.2%	8	6.5%
看護協会	4	1.5%	4	1.8%	4	2.0%	4	2.1%	4	2.3%	4	3.0%	4	3.3%
日赤	4	1.5%	4	1.8%	1	0.5%	3	1.6%	3	1.7%	3	2.2%	3	2.4%
社会福祉協議会	3	1.2%	3	1.3%	3	1.5%	3	1.6%	4	2.3%	3	2.2%	4	3.3%
特定非営利活動法人	3	1.2%	3	1.3%	3	1.5%	1	0.5%	1	0.6%	1	0.7%	1	0.8%
郡市医師会	2	0.8%	2	0.9%	2	1.0%	2	1.1%	2	1.2%	2	1.5%	2	1.6%
協同組合	1	0.4%	1	0.4%	1	0.5%	1	0.5%	1	0.6%	1	0.7%	1	0.8%
計	260	100%	225	100%	198	100%	188	100%	172	100%	135	100%	123	100%

図1 設置主体



## 2) 同一法人の併設医療機関

同一法人の併設医療機関は「併設あり」が92か所(35.4%)、「併設なし」が168か所(64.6%)であった。「併設あり」のうち、病院・診療所共に併設しているのは、31か所(11.9%)、病院のみ併設が40か所(15.4%)、診療所のみが21か所(8.1%)であった。

前回調査より、併設なしの事業所が28か所増えた。

表2 同一法人の併設医療機関の有無 (n=260)

	今回		第6回 (R2.6)		第5回 (H30.6)		第4回 (H28.6)		第3回 (H26.6)		第2回 (H24.9)		第1回 (H22.9)		
	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	
併 設 有	病院	40	15.4%	45	20.0%	38	19.2%	39	20.7%	41	23.8%	39	28.9%	44	35.8%
	診療所	21	8.1%	20	8.9%	21	10.6%	20	10.6%	15	8.7%	15	11.1%	15	12.2%
	病院 診療所	31	11.9%	20	8.9%	16	8.1%	16	8.5%	23	13.4%	21	15.6%	10	8.1%
併設医療機関 なし	168	64.6%	140	62.2%	123	62.1%	113	60.1%	93	54.1%	60	44.4%	54	43.9%	
計	260	100%	225	100%	198	100%	188	100%	172	100%	135	100%	123	100%	

## 3) 同一法人の併設事業

同一法人で「併設事業あり」は、203か所(78.1%)で、前回調査より20か所増えている。「併設事業なし」は、57か所(21.9%)であった。「併設なし」の事業所が前回調査より15か所増えている。

併設事業で最も多いのは、居宅介護支援事業で150か所(73.9%)、次いで訪問介護99か所(48.8%)、通所介護88か所(43.3%)であった。その他として、住宅型有料老人ホーム、介護付き有料老人ホーム、放課後デイサービス、就労継続支援事業所、児童発達支援事業、包括支援センター等の併設があった。

表 3-1 同一法人の併設事業の有無 (n=260)

	今回		第 6 回 (R2. 6)		第 5 回 (H30. 6)		第 4 回 (H28. 6)		第 3 回 (H26. 6)		第 2 回 (H24. 6)		第 1 回 (H22. 9)	
	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合
併設事業あり	203	78.1%	183	81.3%	162	81.8%	152	80.9%	140	81.4%	116	85.9%	105	85.4%
併設事業なし	57	21.9%	42	18.7%	36	18.2%	36	19.1%	32	18.6%	19	14.1%	18	14.6%
計	260	100%	225	100%	198	100%	188	100%	172	100%	135	100%	123	100%

表 3-2 併設事業の内訳 複数回答 (n=203)

事業の種類	今回		第 6 回 (R2. 6)		第 5 回 (H30. 6)		第 4 回 (H28. 6)		第 3 回 (H26. 6)		第 2 回 (H24. 9)		第 1 回 (H22. 9)	
	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合
居宅介護支援事業所	150	73.9%	126	68.9%	129	79.6%	123	80.9%	111	79.3%	92	79.3%	97	92.4%
訪問介護	99	48.8%	90	49.2%	81	50.0%	77	50.7%	68	48.6%	60	51.7%	49	46.7%
通所介護	88	43.3%	83	45.4%	78	48.1%	80	52.6%	66	47.1%	57	49.1%	49	46.7%
グループホーム	63	31.0%	37	20.2%	34	21.0%	32	21.1%	29	20.7%	23	19.8%	18	17.1%
通所リハビリ	61	30.0%	56	30.6%	53	32.7%	54	35.5%	48	34.3%	46	39.7%	43	41.0%
訪問リハビリ	47	23.2%	36	19.7%	33	20.4%	23	15.1%	20	14.3%	19	16.4%	13	12.4%
老人保健施設	45	22.2%	40	21.9%	36	22.2%	36	23.7%	36	25.7%	37	31.9%	28	26.7%
短期入所生活介護	34	16.7%	23	12.6%	27	16.7%	28	18.4%	20	14.3%	17	14.7%	14	13.3%
サービス付高齢者専用住宅	31	15.3%	21	11.5%	20	12.3%	14	9.2%						
特別養護老人	30	14.8%	21	11.5%	20	12.3%	23	15.1%	17	12.1%	19	16.4%	15	14.3%
福祉用具貸与	28	13.8%	20	10.9%	22	13.6%	22	14.5%	20	14.3%	15	12.9%	9	8.6%
短期入所療養介護	27	13.3%	26	14.2%	22	13.6%	28	18.4%	28	20.0%	26	22.4%	18	17.1%
看護小規模多機能	27	13.3%	24	13.1%	20	12.3%	12	7.9%	2	1.4%	0	0%		
小規模多機能	26	12.8%	24	13.1%	27	16.7%	23	15.1%	19	13.6%	16	13.8%	11	10.5%
訪問入浴	17	8.4%	11	6.0%	10	6.2%	9	5.9%	13	9.3%	19	16.4%	8	7.6%
定期巡回・随時対応	15	7.4%	12	6.6%	13	8.0%	19	12.5%	14	10.0%				
介護医療院	13	6.4%	10	5.5%	0	0%								
療養介護通所	11	5.4%	5	2.7%	5	3.1%	5	3.3%	6	4.3%	12	10.3%	6	5.7%
ケアハウス	9	4.4%	8	4.4%	4	2.5%	8	5.3%	6	4.3%	8	6.9%	9	8.6%
その他	53	26.1%	36	19.7%	29	17.9%	27	17.8%	24	17.1%	13	11.2%	24	22.9%

#### 4) サテライトの設置について

サテライトは、38 事業所 (14.6%) が設置している。設置数は、2 か所設置が 2 事業所、1 か所設置が 36 事業所で、サテライト数は合計 40 である。

サテライト設置の意向はあるが、困難であると回答した事業所は 29 か所 (11.2%) である。設置困難の理由に、17 か所が人材確保が困難であるとあげている。

表 4-1 サテライト設置状況 (n=260)

	数	割合
既に設置	38	14.6%
設置の意向なし	193	74.2%
設置の意向はあるが困難	29	11.2%
計	260	100%

表 4-2 サテライト設置困難理由 (n=29) 複数回答

	数	割合
人材確保が困難	17	58.6%
ニーズ等検討	3	10.3%
開設間もない	3	10.3%
費用	2	6.9%
記述なし	5	17.2%

## 5) 機能強化型について

機能強化型の要件を満たし届出をしている事業所は 19 か所 (7.3%) である。機能強化型の要件を満たしているが、届出をしていない事業所が 6 か所 (2.3%)。機能強化型を目指しているが、要件を満たしていない事業所が 98 か所 (37.7%)。要件を満たしていない、又は届出の意向もない事業所が 137 か所 (52.7%) であった。

表 5-1 機能強化型の届出状況 (n=260)

	数	割合
要件を満たし届出をしている	19	7.3%
要件を満たしているが届出をしていない	6	2.3%
意向はあるが、要件を満たしていない	98	37.7%
要件を満たしていない、または意向がない	137	52.7%
計	260	100%

表 5-2 機能強化型の届出をしている事業所の地区別 (n=19)

	圏域	機能強化型 1	機能強化型 2	機能強化型 3	計
東部	賀茂	0	0	0	0
	熱海・伊東	0	1	0	1
	駿東・田方	1	2	0	3
	富士	1	1	0	2
中部	静岡	0	2	1	3
	志太・榛原	1	0	1	2
西部	中東遠	1	2	0	3
	西部	4	1	0	5
合 計		8	9	2	19



## 6) 加算の届出状況

加算の届出状況は、24時間対応体制加算が最も多く、232か所（89.2%）である。

精神科訪問看護基本療養費は141か所（54.2%）が届出をしており、前回調査より25か所増えている。他、ほぼ全ての加算で届出数は増加しているが、特別管理加算、緊急時訪問看護加算、ターミナルケア加算の割合は減少している。

表6-1 加算の届出状況（n=260）

届出の有無 加算の種類	今回		第6回 (R2.6)		第5回 (H30.6)		第4回 (H28.6)		第3回 (H26.6)		第2回 (H24.9)		第1回 (H22.9)	
	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合
24時間対応体制加算	232	89.2%	199	88.4%	177	89.4%	165	87.8%	148	86.0%	113	83.7%	98	79.7%
特別管理加算	231	88.8%	206	91.6%	184	92.9%	176	93.6%	161	93.6%	126	93.3%	115	93.5%
緊急時訪問看護加算	229	88.1%	202	89.8%	180	90.9%	174	92.6%	156	90.7%	121	89.6%	105	85.4%
ターミナルケア加算	213	81.9%	190	84.4%	173	87.4%	172	91.5%	153	89.0%	120	88.9%	105	85.4%
精神科訪問看護基本療養費	141	54.2%	116	51.6%	99	50.0%	81	43.1%	68	38.4%				
サービス提供体制加算	104	40.0%	98	43.6%	92	46.5%	98	52.1%	91	52.9%	88	65.2%	81	65.9%
看護体制強化加算	61	23.5%	33	14.7%	34	17.2%	40	21.3%						
定期巡回・随時対応サービス連携	19	7.3%	14	6.2%	17	8.6%	25	13.3%	15	8.7%				
機能強化型訪問看護管理療養費1	8	3.1%	5	2.2%	6	3.0%	3	1.6%	3	1.7%				
機能強化型訪問看護管理療養費2	9	3.5%	9	4.0%	2	1.0%	5	2.7%	6	3.5%				
機能強化型訪問看護管理療養費3	2	0.8%	5	2.2%	2	1.0%								

表6-2 加算の6月実績数（n=260）

	届出数	算定実績
24時間対応体制加算	232	4,182
特別管理加算	231	4,326
緊急時訪問看護加算	229	10,572
ターミナルケア加算	213	265
精神科訪問看護療養費	141	7,106
サービス提供体制強化加算	104	35,281
看護体制強化加算	61	3,724
定期巡回・随時対応サービス連携	19	182
機能強化型訪問看護管理療養費1	8	450
機能強化型訪問看護管理療養費2	9	815
機能強化型訪問看護管理療養費3	2	104

## 7) 職員体制

職員区分別では、「看護職員」が1,797人(68.5%)、「リハビリ職員」が606人(23.1%)「事務職員」が213人(8.1%)であった。その他の職員は5人で、職種は、看護補助者、調理師、清掃員、臨床心理士であった。前回調査より、常勤換算従事者総数は390人増加している。

1事業所あたりの職種別従事者数は、「看護職員」の常勤換算は5.55人で、前回調査より0.3人増加し、これまでの調査の中で最も多い。「リハビリ職員」は1.72人で、これまでの調査の中で最も多い。

看護職員の常勤換算数は、前回調査時では「3.0～3.9人」が最も多かったが、今回の調査では「4.0～4.9人」が64か所(24.6%)と最も多い。「2.5～2.9人」は33か所(12.7%)と前回調査より減少している。5人未満の小規模事業所は142か所(54.6%)で、全体の5割を超えている。

表 7-1 職種別職員数 令和4年6月現在 (単位：人)

	従事者数				常勤換算従事者総数	
	総数	常勤		非常勤		
		専従	兼務			
総数	2,625	1,387	275	963	2058.4	100%
保健師	17	11	2	4	17.8	0.9%
助産師	12	3	0	9	2.4	0.1%
看護師	1,667	877	126	664	1344.7	65.3%
准看護師	101	55	5	41	79.1	3.8%
理学療法士	405	228	71	106	296.4	14.4%
作業療法士	171	101	18	52	137.2	6.7%
言語聴覚士	30	7	12	11	13.4	0.7%
精神保健福祉士	4	2	1	1	2.6	0.1%
事務職員	213	101	39	73	162.2	7.9%
その他の職員	5	2	1	2	2.6	0.1%

表 7-2 過去の常勤換算従事者数 (単位：人)

	第6回 (R2.6)		第5回 (H30.6)		第4回 (H28.6)		第3回 (H26.6)		第2回 (H24.9)		第1回 (H22.9)	
	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合
総数	1668.4	100%	1418.7	100%	1273.7	100%	1072.2	100%	838.6	100%	763.7	100%
保健師	18.9	1.1%	11.5	0.8%	9.7	0.8%	11.2	1.0%	11.3	1.4%	7.7	1.0%
助産師	3.1	0.2%	2.4	0.2%	2.4	0.2%	4.1	0.4%	2.1	0.2%	2.2	0.3%
看護師	1106.2	66.3%	958.3	67.5%	843.9	66.3%	710.5	66.3%	589.3	70.3%	544.0	71.2%
准看護師	55.0	3.3%	50.8	3.6%	53.7	4.2%	57.0	5.3%	32.9	3.9%	34.0	4.5%
理学療法士	230.6	13.8%	189.3	13.4%	158.3	12.7%	136.2	12.7%	102.6	12.2%	77.7	10.2%
作業療法士	115.0	6.9%	98.2	7.0%	79.8	6.3%	54.0	5.0%	35.1	4.2%	26.0	3.4%
言語聴覚士	10.6	0.6%	6.1	0.4%	4.5	0.4%	4.3	0.4%	1.8	0.2%	1.8	0.2%
精神保健福祉士	3.0	0.2%										
事務職員	126.0	7.6%	102.1	7.2%	102.1	8.6%	87.9	8.2%	58.6	7.0%	48.3	6.3%
その他					19.3	1.5%	7.0	0.7%	4.9	0.6%	22.0	2.9%

表 7-3 1 事業所あたりの職員別従事者常勤換算数 (n=260、単位：人)

	今回	第 6 回 (R2. 6)	第 5 回 (H30. 6)	第 4 回 (H28. 6)	第 3 回 (H26. 6)	第 2 回 (H24. 9)	第 1 回 (H22. 9)
総数	7.91	7.42	7.18	6.74	6.53	6.21	6.20
保健師	0.07	0.08	0.06	0.05	0.07	0.08	0.06
助産師	0.01	0.01	0.01	0.01	0.02	0.02	0.02
看護師	5.17	4.92	4.84	4.49	4.13	4.33	4.42
准看護師	0.30	0.24	0.26	0.29	0.33	0.28	0.28
理学療法士	1.14	1.03	0.96	0.84	0.79	0.76	0.63
作業療法士	0.53	0.51	0.50	0.42	0.31	0.26	0.21
言語聴覚士	0.05	0.05	0.03	0.02	0.33	0.01	0.01
精神保健福祉士	0.01	0.01					
事務職員	0.62	0.56	0.52	0.51	0.51	0.43	0.39
その他	0.01			0.10	0.04	0.04	0.18

図 2 1 事業所あたりの職種別従事者割合 (n=260、単位：人)

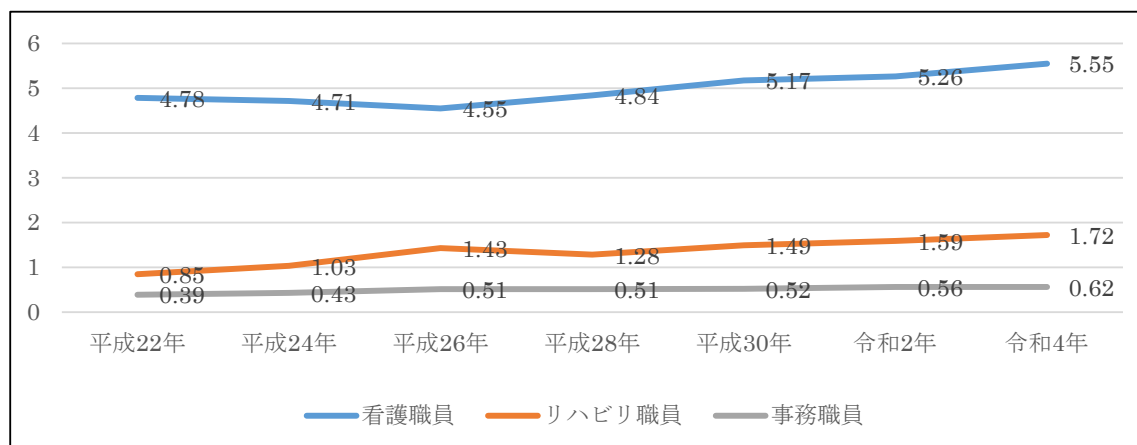
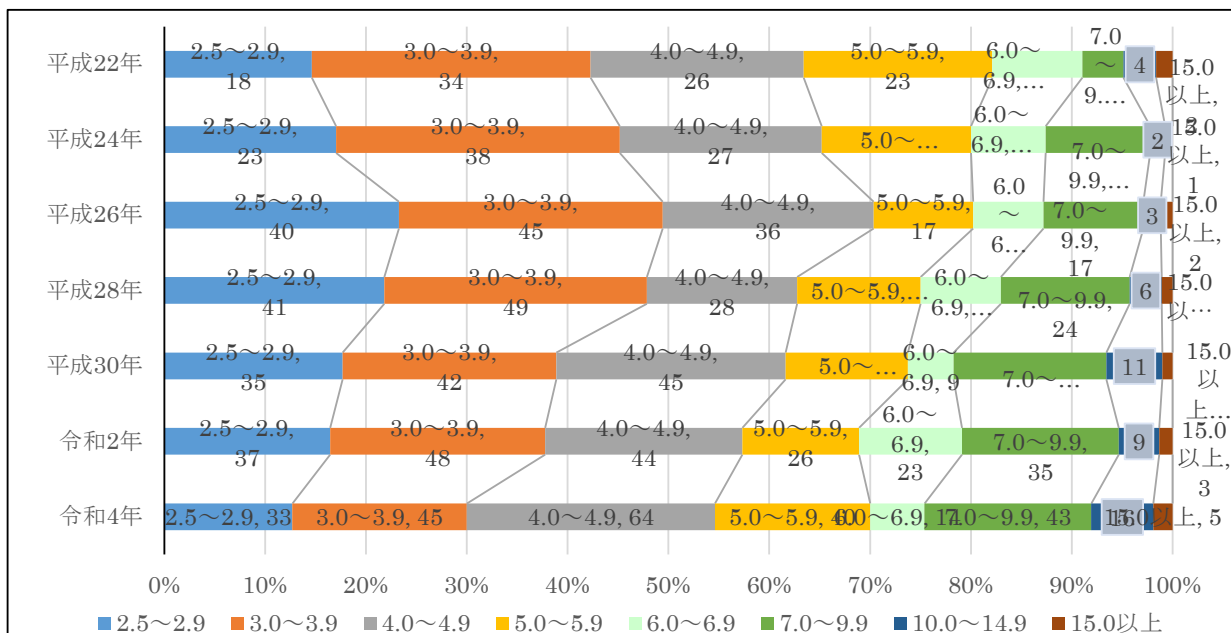


表 8 看護職員常勤換算数とステーション数 (n=260)

	今回		第 6 回 ( R2. 6)	第 5 回 (H30. 6)	第 4 回 (H28. 6)	第 3 回 (H26. 6)	第 2 回 (H24. 9)	第 1 回 (H22. 9)
	数	割合						
2.5~2.9	33	12.7%	37	35	41	40	23	18
3.0~3.9	45	17.3%	48	42	49	45	38	34
4.0~4.9	64	24.6%	44	45	28	36	27	26
5.0~5.9	40	15.4%	26	24	23	17	20	23
6.0~6.9	14	5.4%	23	9	15	12	10	11
7.0~9.9	43	16.5%	35	30	24	17	14	5
10.0~14.9	16	6.2%	9	11	6	3	2	4
15.0以上	5	1.9%	3	2	2	2	1	2
計	260	100%	225	198	188	172	135	123

図3 看護職員常勤換算数とステーション数



地区別の看護職の常勤換算では、東部は前回調査より増加している。

医療圏別看護職員の常勤換算では、賀茂圏域が2.90人と最も少なく、熱海・伊東圏域が6.51人と最も多かった。静岡と中東遠圏域では、前回調査より減少している。

表9-1 医療圏・地区別看護職員・リハ職員常勤換算

地区	圏域	職種							看護職員／施設
		看護師	保健師	助産師	准看護師	PT	OT	ST	
東部	賀茂 (8)	16.7	0	0	6.5	2.9	1.0	0	2.90
	熱海・伊東 (11)	62.3	0	0	9.3	17.0	10.4	0.5	6.51
	駿東・田方 (52)	261.2	2.6	0.6	12.8	67.4	28.5	1.8	5.33
	富士 (25)	139.1	2.0	1.2	11.6	33.2	10.5	0	6.16
中部	静岡 (54)	260.0	4.0	0.6	15.0	80.6	33.4	6.2	5.18
	志太・榛原 (20)	103.7	0	0	6.1	20.2	4.7	0.3	5.49
西部	中東遠 (24)	141.8	0	0	0.5	19.4	12.9	3.1	5.93
	西部 (66)	359.9	9.2	0	17.3	55.7	35.8	1.5	5.85
合計		1344.7	17.8	2.4	79.1	296.4	137.2	13.4	43.35

図4 医療圏別1施設当たりの看護職員の常勤換算数

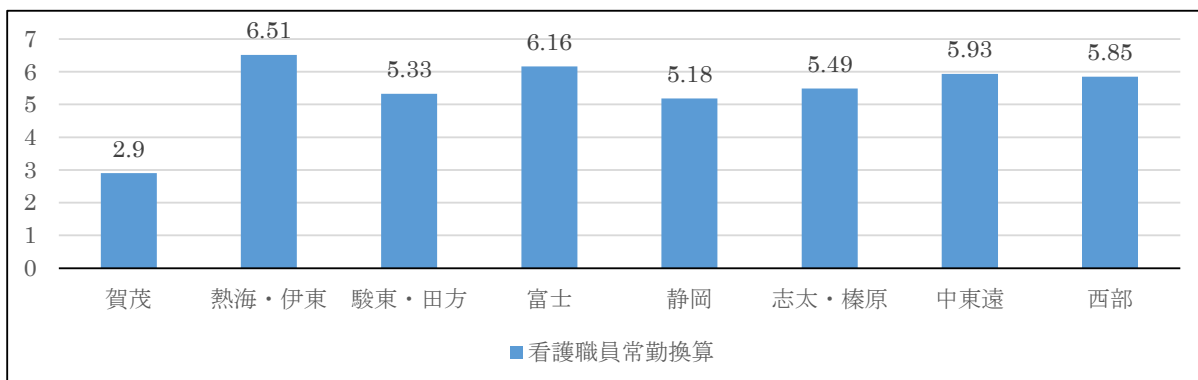


表 9-2 地区別の看護職員常勤換算の推移（平成 22 年 9 月～令和 2 年 6 月）

【 東部 】

	第 6 回 (R2. 6)	第 5 回 (H30. 6)	第 4 回 (H28. 6)	第 3 回 (H26. 6)	第 2 回 (H24. 9)	第 1 回 (H22. 9)
看護師	4. 51	4. 43	3. 98	3. 69	4. 29	3. 92
保健師	0. 07	0. 05	0. 01	0. 02	0. 01	0. 06
助産師	0. 02	0. 01	0. 03	0. 02	0	0. 02
准看護師	0. 40	0. 38	0. 40	0. 53	0. 40	0. 50
計	5. 00	4. 87	4. 42	4. 26	4. 70	4. 50

【 中部 】

	第 6 回 (R2. 6)	第 5 回 (H30. 6)	第 4 回 (H28. 6)	第 3 回 (H26. 6)	第 2 回 (H24. 9)	第 1 回 (H22. 9)
看護師	4. 92	4. 77	4. 46	4. 11	4. 25	4. 71
保健師	0. 05	0. 04	0. 06	0. 06	0. 04	0. 06
助産師	0	0. 02	0. 04	0. 05	0	0
准看護師	0. 17	0. 29	0. 26	0. 21	0. 32	0. 27
計	5. 14	5. 12	4. 82	4. 43	4. 61	5. 04

【 西部 】

	第 6 回 (R2. 6)	第 5 回 (H30. 6)	第 4 回 (H28. 6)	第 3 回 (H26. 6)	第 2 回 (H24. 9)	第 1 回 (H22. 9)
看護師	5. 37	5. 38	5. 16	4. 66	4. 52	4. 71
保健師	0. 13	0. 08	0. 10	0. 13	0. 18	0. 07
助産師	0. 01	0. 02	0	0	0. 04	0. 03
准看護師	0. 13	0. 08	0. 14	0. 21	0. 04	0. 05
計	5. 64	5. 56	5. 39	5. 00	4. 78	4. 86

看護職員とリハ職員の割合（看護職員／看護職員＋リハ職員）

従事者の内、看護職員の割合が 60%未満の事業所は 32 か所（12.3%）あった。リハ職員が 0 人の事業所は 100 か所（38.5%）であった。

看護職員の割合が 60%未満の事業所の加算の届出状況は、緊急時訪問看護加算と 24 時間対応体制加算は 30 か所（93.8%）、特別管理加算・ターミナルケア加算は 29 か所（90.6%）であった。看護体制強化加算の届出は 2 か所（6.3%）であった。

表 10 従事者のうち看護職員の割合（n=260）

	事業所数	割合
30%未満	0	0%
30～40%未満	5	1.9%
40～60%未満	27	10.4%
60～80%未満	67	25.8%
80%以上	161	61.9%
計	260	100%

図 5 従事者のうち看護職員の割合（n=260）

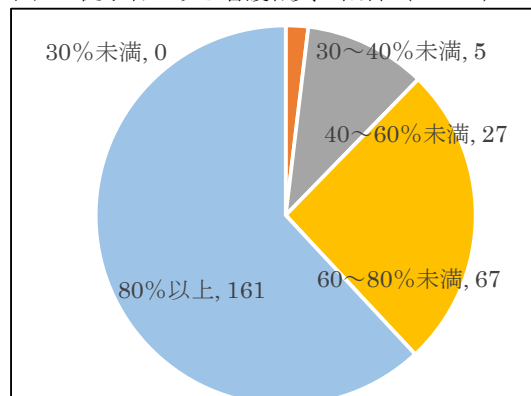
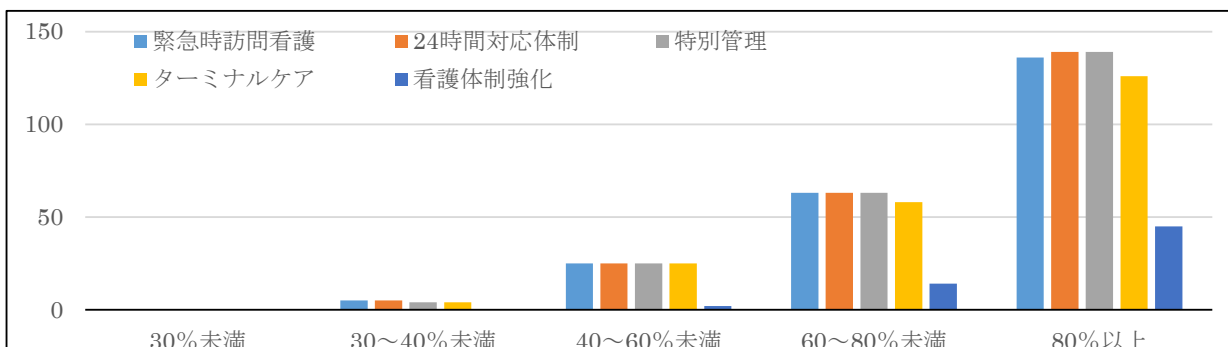


表 11 看護職員の割合と加算の届出状況

	事業所数	緊急時訪問看護加算		24時間対応体制加算		特別管理加算		ターミナルケア加算		看護体制強化加算	
30%未満	0	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
30~40%未満	5	5	100%	5	100%	4	80.0%	4	80.0%	0	0%
40~60%未満	27	25	92.6%	25	92.6%	25	92.6%	25	92.6%	2	7.4%
60~80%未満	67	63	94.0%	63	94.0%	63	94.0%	58	86.6%	14	20.9%
80%以上	161	136	84.5%	139	86.3%	139	86.3%	126	78.3%	45	28.0%
計	260	229	88.1%	232	89.2%	231	88.8%	213	81.9%	61	23.5%

図 6 看護職員とリハ職員の割合と、加算の届け出状況



## 8) 看護職員の年齢構成

訪問看護事業所看護職員の年齢構成は、22歳～82歳までが在籍し、平均年齢は、47.68歳で、前回調査より0.33歳低くなっている。男性看護師は、25～66歳までの21人が在籍している。

圏域別の平均年齢は、熱海・伊東が42.9歳と最も低く、最も高かったのは賀茂地区で54.2歳であった。

年代別の人数は、20歳代102人(5.7%)、30歳代284人(15.8%)、40歳代648人(36.1%)、50歳代522人(29.0%)、60歳代217人(12.1%)、70歳以上24人(1.3%)である。60歳以上が241人で、全体の13.4%であった。

年齢別では、48歳が84人(4.7%)と最も多く、次いで49歳が82人(4.6%)であった。

地区別の年代別従事者状況は、西部地区では70歳代を除く全年齢で多い。中部地区では70歳代を除く全年齢で少ない。東部地区は50歳代が多い。

表 12 看護職員の年代別従事者数 (n=1,797、単位：人)

	圏域(事業所数)	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	合計	平均年齢
東部	賀茂(8)	1	2	5	12	9	1	30	54.2
	熱海・伊東(11)	10	20	26	20	5	3	84	42.9
	駿東・田方(52)	24	59	104	104	31	4	326	44.1
	富士(25)	5	29	60	67	21	2	184	53.3
中部	静岡(54)	8	44	143	119	40	6	360	48.3
	志太・榛原(20)	15	28	35	32	21	3	134	46.0
西部	中東遠(24)	1	14	80	50	30	1	176	50.2
	西部(66)	38	88	195	118	60	4	503	44.6
合計(260)		102	284	648	522	217	24	1,797	47.68

図7 看護職員の年代別従事者数

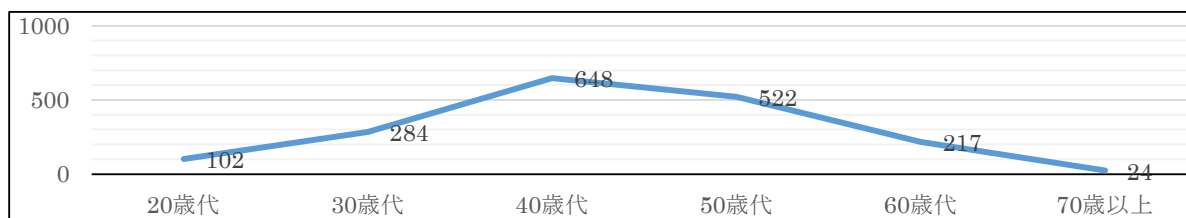
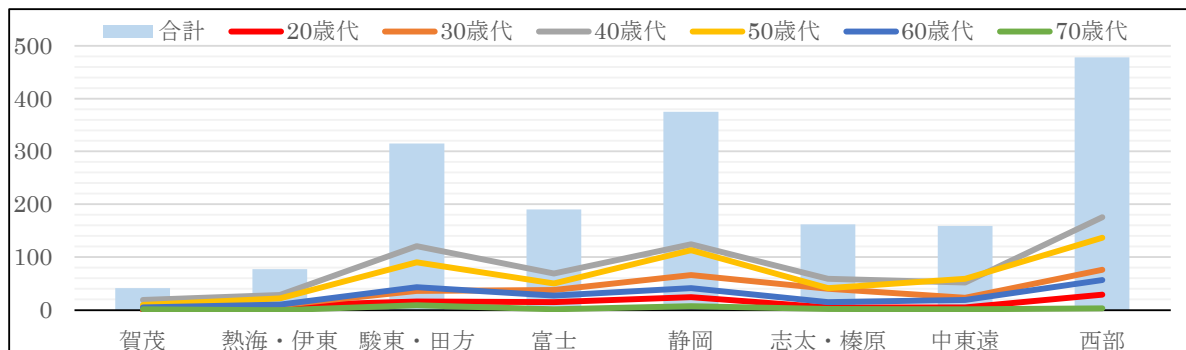


図8 地区別看護職員の年代別従事者数



### 9) 常勤換算数と利用者数

260 事業所職員全体の常勤換算数は7.91人で、うち看護職員の常勤換算数の平均は5.55人である。「利用者数100人以上」の事業所の看護職員の常勤換算数の平均は8.06人である。「利用者数100人未満」の事業所の看護職員の常勤換算数の平均は4.47人である。

「利用者100人以上」の事業所の中には、看護職員の常勤換算が2.5~3.0人と少ないところもあるが、理学療法士・作業療法士が常勤換算で5人在籍している。

表13 利用者数別 (n=260)

利用者数	事業所数	割合
100人以上	79	30.4%
100人未満	181	69.6%
計	260	100%

表14 全事業所常勤換算平均 (n=260)

職種	常勤換算数
保健師	0.07
助産師	0.01
看護師	5.17
准看護師	0.30
理学療法士	1.14
作業療法士	0.53
言語聴覚士	0.05
精神保健福祉士	0.01
事務職員	0.62
その他	0.01
計	7.91

表15 利用者100人以上事業所常勤換算数の平均 (n=79)

職種	常勤換算数
保健師	0.07
助産師	0.01
看護師	7.80
准看護師	0.18
理学療法士	2.56
作業療法士	1.34
言語聴覚士	0.11
精神保健福祉士	0.01
事務職員	1.15
その他	0.03
計	13.26

表16 利用者100人未満の事業所常勤換算数の平均 (n=181)

職種	常勤換算数
保健師	0.07
助産師	0.01
看護師	4.03
准看護師	0.36
理学療法士	0.52
作業療法士	0.18
言語聴覚士	0.03
精神保健福祉士	0.01
事務職員	0.30
その他	0.003
計	5.51

## 1 0) 専門看護師・認定看護師・特定行為研修修了者の在籍状況

専門看護師はいないが、認定看護師と特定行為研修修了者は34か所の事業所に43名が在籍している。前回調査より15名増加している。

領域別では、「訪問看護認定看護師」が14名と最も多く、「皮膚・排泄ケア認定看護師」が6名、「緩和ケア認定看護師」が5名、「認知症看護認定看護師」が2名、「慢性心不全看護認定看護師」「がん性疼痛看護認定看護師」「糖尿病看護認定看護師」「精神科認定看護師」が各1名であった。

特定行為研修修了者は13名である。認定看護師で特定行為研修を修了している者がいる。

表 17-1 専門看護師・認定看護師数

資格	人数	資格	人数
訪問看護認定看護師	14	がん性疼痛看護認定看護師	1
皮膚・排泄ケア認定看護師	6	慢性心不全看護認定看護師	1
緩和ケア認定看護師	5	糖尿病看護認定看護師	1
認知症看護認定看護師	2	精神科認定看護師	1

表 17-2 特定行為研修修了者数

特定行為区分	人数
特定行為全て	1
在宅・慢性期領域パッケージ	3
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	5
呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連、創傷管理関連、動脈血液ガス分析関連 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連、栄養に係るカテーテル管理関連	1
ろう孔管理関連、栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	1
感染に係る薬剤投与関連、栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	1
呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連、呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連、 創傷管理関連、栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連、感染に係る薬剤投与関連、 栄養に係るカテーテル管理関連、血糖コントロールに係る薬剤投与関連、 精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	1

## 1 1) 研修の受講状況について

内部研修は238か所（91.5%）が計画をしている。また、外部研修へは236か所（90.8%）が参加計画をしている。内部研修・外部研修のいずれも計画がないと回答した事業所が8か所（3.1%）あった。賀茂地区と西部地区で2か所ずつ、駿東・田方、富士、静岡、志太・榛原の各医療圏で1か所あった。8事業所の看護職員の常勤換算は、「2.5～3.0」が5か所、「3.5～6.0」が3か所である。

研修計画がない理由は、「職員体制が未整備」「時間がとれない」「コロナ感染が収束するまで参加を控える」であった。

外部への研修先として最も多かったのは、静岡県訪問看護ステーション協議会で215か所（91.1%）であった。次いで看護協会130か所（55.1%）、全国訪問看護事業協会14か所（5.9%）である。その他日本訪問看護財団、近隣の医療機関や医師会の研修会、日本精神科看護協会、市町開催の研修会等の参加計画である。



表 18 研修の受講状況 (n=260)

	内部研修		外部研修	
	数	割合	数	割合
ある	238	91.5%	236	90.8%
ない	22	8.5%	24	9.2%
計	260	100%	260	100%

図 9 研修の受講状況

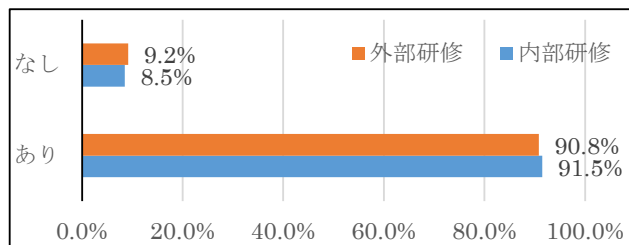
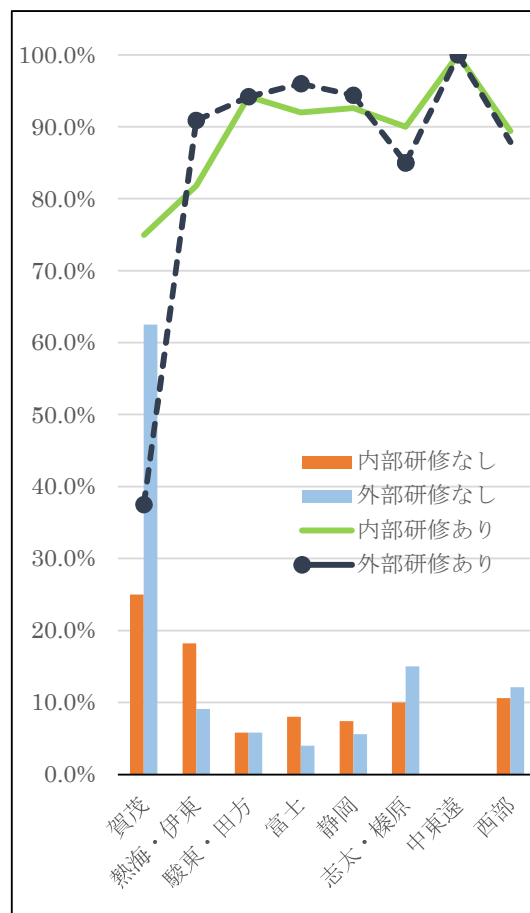


表 19 医療圏域別の研修受講状況 (n=260)

医療圏域(事業所数)			内部研修		外部研修	
			数	割合	数	割合
東部	賀茂 (8)	ある	6	75.0%	3	37.5%
		なし	2	25.0%	5	62.5%
	熱海・伊東 (11)	ある	9	81.8%	10	90.9%
		なし	2	18.2%	1	9.1%
	駿東・田方 (52)	ある	49	94.2%	49	94.2%
		なし	3	5.8%	3	5.8%
富士 (25)	ある	23	92.0%	24	96.0%	
	なし	2	8.0%	1	4.0%	
中部	静岡 (54)	ある	50	92.6%	51	94.4%
		なし	4	7.4%	3	5.6%
	志太・榛原 (20)	ある	18	90.0%	17	85.0%
		なし	2	10.0%	3	15.0%
西部	中東 (24)	ある	24	100%	24	100%
		なし	0	0%	0	0%
	西部 (66)	ある	59	89.4%	58	87.9%
		なし	7	10.6%	8	12.1%

図 10 医療圏域別の研修受講状況



## 1 2) 看護学生実習の受け入れ状況について

看護学生の実習については、108 か所 (41.5%) が受け入れをしている。現在実習を受けてはいるが、受ける意向がある事業所は 80 か所 (30.8%) であった。現在実習は受けていないし、今後も受ける意向はない事業所が 72 か所 (27.7%) である。

現在は実習を受けていないが、受ける意向のある事業所が増えている。

表 20 実習の受け入れ状況 (n=260)

看護学生実習	今回		第 6 回 (R2.6)		第 5 回 (H30.6)		第 4 回 (H28.6)	
	事業所数	割合	事業所数	割合	事業所数	割合	事業所数	割合
受けている	108	41.5%	98	43.6%	96	48.5%	83	44.2%
受けていないが、受ける意向あり	80	30.8%	57	25.3%	52	26.3%	64	34.0%
受けていないし、受ける意向もない	72	27.7%	70	31.1%	50	25.3%	41	21.8%
計	260	100%	225	100%	198	100%	188	100%

### 1 3) 収支状況について

令和3年4月～令和4年3月までの収支状況については、対象期間以降に新設された事業所を除く255か所の内、赤字は54か所(21.2%)、黒字は166か所(65.1%)、不明が35か所(13.7%)であった。

今後の事業運営については、260か所の内、事業所拡大が80か所(30.8%)、現状維持が178か所(68.5%)、縮小が2か所(0.8%)であった。赤字であっても22か所は事業拡大を目指している。縮小とした事業所の収支状況は、黒字である。

赤字事業所の設置後の経過年数は1年未満が最も多く、利用者数は50人～100人未満が最も多かった。赤字の理由として、「開設して間もない」「開設時の費用が未回収」が最も多く、次いで多いのが「利用者数が少ない」であった。その他「人件費の占める割合が多い」、「入院・入所による収入減」や、新型コロナウイルスにより「利用者が減少」、「稼働率が低下した」であった。

表 21 収支状況 (n=255)

収支	今回		第6回 (R2.4)		第5回 (H30.4)		第4回 (H28.6)	
	事業所数	割合	事業所数	割合	事業所数	割合	事業所数	割合
赤字	54	21.2%	60	27.4%	57	29.8%	58	31.7%
黒字	166	65.1%	126	57.5%	101	52.9%	92	50.3%
不明	35	13.7%	33	15.1%	33	17.3%	33	18.0%
計	255	100%	219	100%	191	100%	183	100%

表 22 赤字事業所の設置後の経過年数 (n=54)

経過年数	今回		第6回 (R2.6)		第5回 (H30.6)		第4回 (H28.6)	
	事業所数	割合	事業所数	割合	事業所数	割合	事業所数	割合
1年未満	19	35.2%	10	16.7%	15	26.3%	13	22.4%
1～2年未満	4	7.4%	9	15.0%	1	1.8%	11	19.0%
2～3年未満	2	3.7%	6	10.0%	6	10.5%	8	14.0%
3～4年未満	5	9.3%	3	5.0%	3	5.3%	4	6.9%
4～5年未満	5	9.3%	8	13.3%	6	10.5%	0	0%
5～10年未満	8	14.8%	10	16.7%	6	10.5%	5	8.6%
10年以上	11	20.4%	14	23.3%	20	35.1%	17	29.3%
計	54	100%	60	100%	57	100%	58	100%

図 11 収支状況

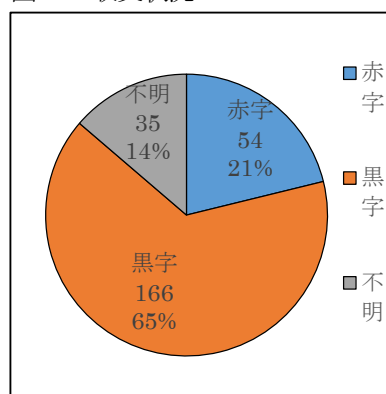


図 12 赤字事業所の設置経過年数別

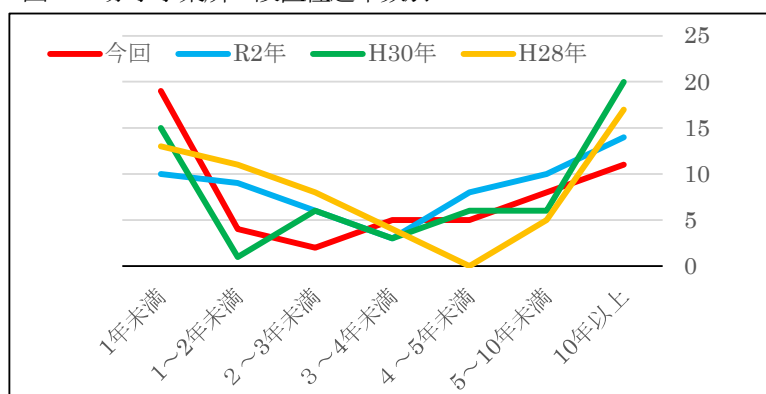


表 23 赤字事業所の利用者数 (n=54)

利用者数	今回		第6回 (R2.6)		第5回 (H30.6)		第4回 (H28.6)	
	事業所数	割合	事業所数	割合	事業所数	割合	事業所数	割合
10人未満	4	7.4%	4	6.7%	6	10.5%	8	13.8%
10人～20人未満	3	5.6%	4	6.7%	4	7.0%	8	13.8%
20人～30人未満	7	13.0%	11	18.3%	11	19.3%	9	15.5%
30人～40人未満	8	14.8%	4	6.7%	8	14.0%	5	8.6%
40人～50人未満	7	13.0%	5	8.3%	5	8.8%	4	6.9%
50人～100人未満	16	29.6%	23	38.3%	16	28.1%	22	37.9%
100人以上	9	16.7%	9	15.0%	7	12.3%	2	3.5%
計	54	100%	60	100%	57	100%	58	100%

図 13 赤字事業所の利用者数

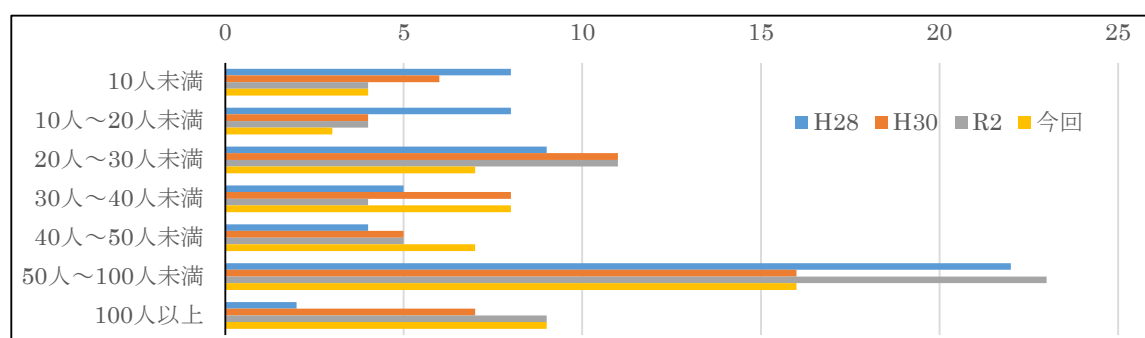


表 24 赤字事業所の看護職員の常勤換算数 (n=54)

常勤換算(人)	今回		第6回 (R2.6)		第5回 (H30.6)		第4回 (H28.6)	
	事業所数	割合	事業所数	割合	事業所数	割合	事業所数	割合
2.5～2.9	8	14.8%	15	25.0%	18	31.6%	21	36.2%
3.0～3.9	13	24.1%	14	23.3%	17	29.8%	17	29.3%
4.0～4.9	19	35.2%	11	18.3%	12	21.1%	9	15.5%
5.0～5.9	6	11.1%	6	10.0%	3	5.3%	6	10.3%
6.0～6.9	1	1.9%	4	6.7%	1	1.8%	1	1.7%
7.0～9.9	5	9.3%	9	15.0%	4	7.0%	2	3.5%
10.0～14.9	1	1.9%	1	1.7%	2	3.5%	2	3.5%
15.0人以上	1	1.9%	0	0%	0	0%	0	0%
計	54	100%	60	100%	57	100%	58	100%

図 14 赤字事業所看護職員の常勤換算数

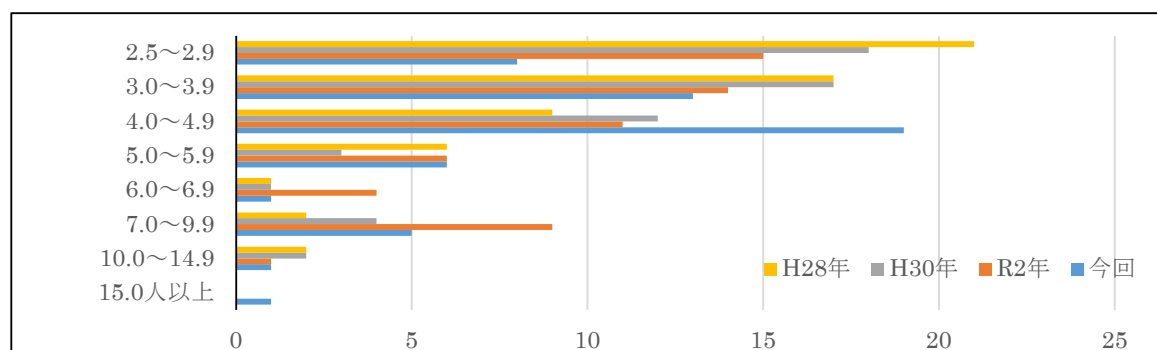


図 15 看護職員の数の規模別にみた収支の状況

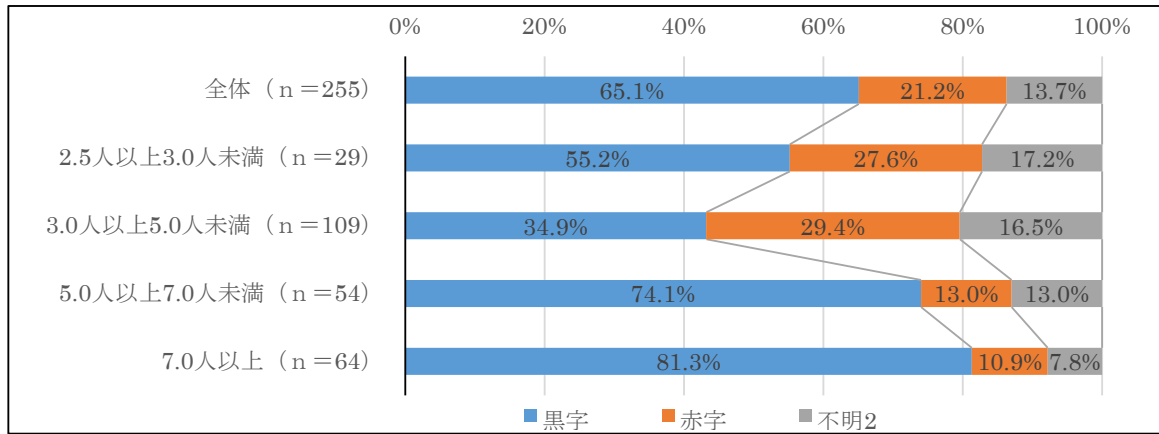
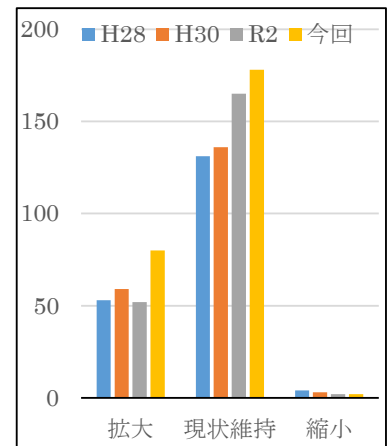


表 25 今後の事業の運営 (n=260)

	今回		第6回 (R2.6)		第5回 (H30.6)		第4回 (H28.6)	
	事業所数	割合	事業所数	割合	事業所数	割合	事業所数	割合
拡大	80	30.8%	52	23.7%	59	29.8%	53	31.7%
現状維持	178	68.5%	165	75.3%	136	68.7%	131	50.3%
縮小	2	0.8%	2	0.9%	3	1.5%	4	18.0%
計	260	100%	219	100%	198	100%	188	100%

図 16 今後の運営



## 2. 利用者の状況 (令和4年6月1日~6月30日の1か月)

### 1) 利用者の年齢・性別

令和4年6月の1か月間の訪問看護利用者総数は、22,637人で前回調査より3,607人増加している。男女比率は、男性9,999人(44.2%)、女性12,638人(55.8%)で、前回調査とほぼ同じ割合である。前回の調査同様、0~15歳と、40~74歳は男性利用者が若干多いが、75歳以上では圧倒的に女性の利用者が多い。年齢別では、75歳~99歳が14,806人で最も多く、訪問看護利用者全体の65.4%を占めている。

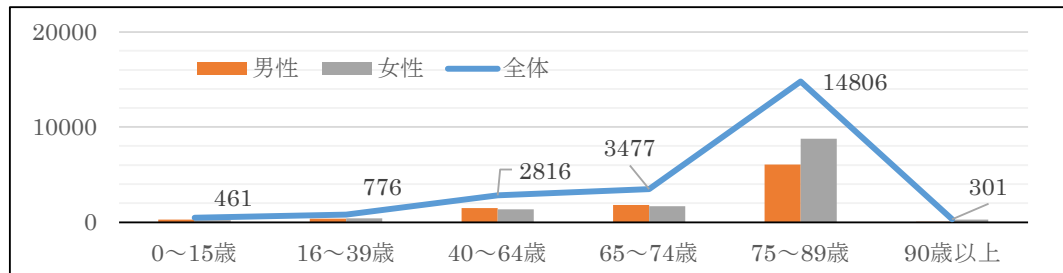
表 26-1 利用者の年齢別・性別人数

	今回				第6回 (R2.6)		第5回 (H30.6)	
	男性人数	女性人数	利用者総数	割合	人数	割合	人数	割合
0~15歳	261	200	461	2.0%	356	1.9%	304	1.9%
16~39歳	366	410	776	3.4%	512	2.7%	398	2.5%
40~64歳	1,484	1,332	2,816	12.4%	2,148	11.3%	1,768	11.1%
65~74歳	1,795	1,682	3,477	15.4%	2,976	15.6%	2,545	16.0%
75~99歳	6,049	8,757	14,806	65.4%	12,799	67.3%	10,660	67.2%
100歳以上	44	257	301	1.3%	239	1.3%	193	1.2%
計	9,999	12,638	22,637	100%	19,030	100%	15,868	100%

表 26-2 過去の利用者の年齢・性別人数（平成 22 年～平成 28 年）

年齢	第 4 回 (H28. 6)		第 3 回 (H26. 6)		第 2 回 (H24. 9)		第 1 回 (H22. 9)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
0～15 歳	223	1.6%	188	1.6%	150	1.5%	102	1.1%
16～39 歳	282	2.1%	238	2.0%	172	1.7%	157	1.8%
40～64 歳	492	10.9%	1,315	11.1%	1,050	10.6%	978	11.0%
65～74 歳	2,215	16.3%	2,031	17.1%	1,684	16.9%	1,599	18.0%
75～89 歳	9,244	67.9%	6,000	50.5%	5,148	51.8%	4,558	51.2%
90 歳以上	160	1.2%	2,098	17.7%	1,745	17.5%	1,500	16.9%
計	13,616	100%	11,870	100%	9,949	100%	8,894	100%

図 17 利用者の年齢別・性別人数



## 2) 保険別の利用者数・訪問回数

介護保険・医療保険の利用者数・利用回数は、共に前回調査より増えている。

保険別の利用者数は、介護保険が 15,525 人 (68.6%)、医療保険が 6,979 人 (30.8%) であった。

保険別の訪問回数は、介護保険 89,970 回 (59.4%)、医療保険 60,389 回 (39.9%) であった。

医療保険の利用者数・利用回数の割合は、調査の度に増加している。

表 27-1 保険別利用者数 (人数)

保険別	今回		第 6 回 (R2. 6)	
	利用者数	割合	人数	割合
介護保険	15,525	68.6%	13,547	71.2%
医療保険	6,979	30.8%	5,337	28.0%
その他	133	0.6%	146	0.8%
計	22,637	100%	19,030	100%

図 18 保険別利用者数

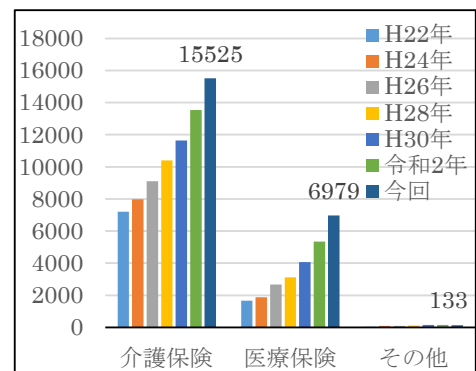


表 27-2 過去の保険別利用者数 (平成 22 年～平成 30 年)

保険別	第 5 回 (H30. 6)		第 4 回 (H28. 6)		第 3 回 (H26. 6)		第 2 回 (H24. 9)		第 1 回 (H22. 9)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
介護保険	11,648	73.4%	10,404	76.4%	9,107	76.7%	7,987	80.3%	7,206	81.0%
医療保険	4,073	25.7%	3,107	22.8%	2,670	22.5%	1,879	18.9%	1,656	18.6%
その他	147	0.9%	105	0.8%	93	0.8%	83	0.8%	32	0.4%
計	15,868	100%	13,616	100%	11,870	100%	9,949	100%	8,894	100%

表 28-1 保険別訪問回数 (回数)

保険別	今回		第6回 (R2.6)	
	回数	割合	回数	割合
介護保険	89,970	59.4%	80,983	65.1%
医療保険	60,389	39.9%	42,858	34.4%
その他	1,092	0.7%	622	0.5%
計	151,451	100%	124,463	100%

図 19 保険別訪問回数

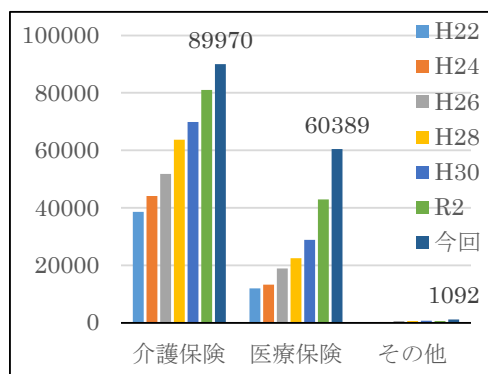


表 28-2 過去の保険別訪問回数 (平成 22 年～平成 30 年)

保険別	第5回 (H30.6)		第4回 (H28.6)		第3回 (H26.6)		第2回 (H24.9)		第1回 (H22.9)	
	回数	割合	回数	割合	回数	割合	回数	割合	回数	割合
介護保険	69,843	70.3%	63,714	73.4%	51,801	72.7%	44,054	76.5%	38,548	76.1%
医療保険	28,820	29.0%	22,454	25.9%	18,849	26.5%	13,282	23.0%	11,975	23.6%
その他	653	0.7%	591	0.7%	547	0.8%	290	0.5%	134	0.3%
計	99,316	100%	86,759	100%	71,197	100%	57,626	100%	50,657	100%

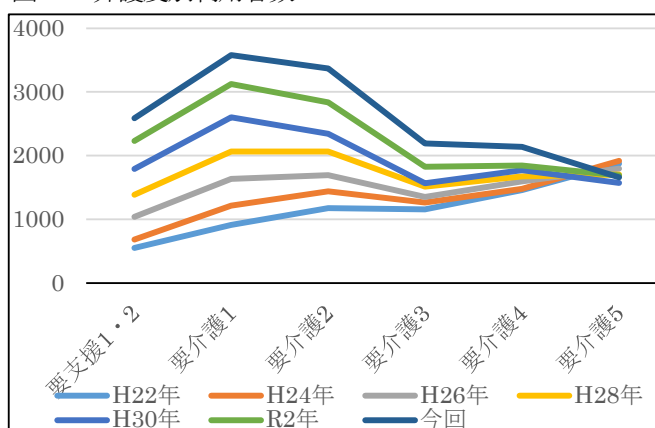
### 3) 介護保険利用者の内訳

介護保険の利用者を介護度別で見ると、前回の調査同様、要介護1が3,582人(23.1%)と最も多く、次いで要介護2が3,369人(21.7%)であった。要介護3~4の利用者は微増である。要介護5は、訪問者数・回数の割合は減少している。

表 29-1 介護保険の介護度別利用者数

介護度	今回		第6回 (R2.6)	
	人数	割合	人数	割合
要支援1・2	2,586	16.7%	2,228	16.4%
要介護1	3,582	23.1%	3,128	23.1%
要介護2	3,369	21.7%	2,836	20.9%
要介護3	2,189	14.1%	1,822	13.4%
要介護4	2,137	13.8%	1,844	13.6%
要介護5	1,662	10.7%	1,689	12.5%
計	15,525	100%	13,547	100%

図 20 介護度別利用者数

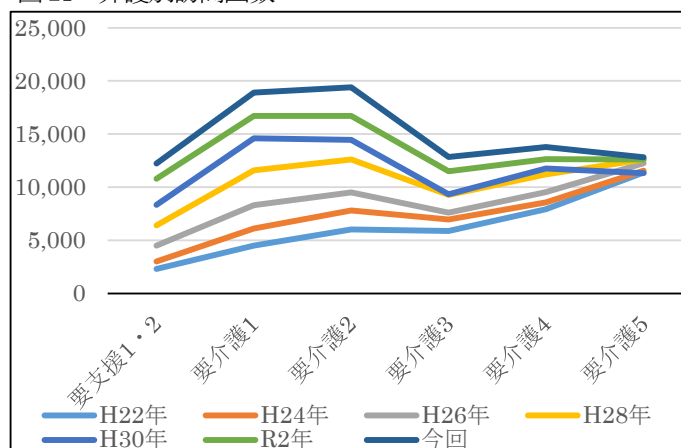


介護度	第5回 (H30.6)		第4回 (H28.6)		第3回 (H26.6)		第2回 (H24.9)		第1回 (H22.9)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
要支援1・2	1,792	15.4%	1,388	13.3%	1,039	11.4%	681	8.5%	552	7.8%
要介護1	2,604	22.4%	2,067	19.9%	1,635	18.0%	1,213	15.2%	911	12.8%
要介護2	2,340	20.1%	2,064	19.8%	1,691	18.6%	1,436	18.0%	1,176	16.5%
要介護3	1,570	13.5%	1,511	14.5%	1,352	14.8%	1,260	15.8%	1,154	16.2%
要介護4	1,771	15.2%	1,673	16.1%	1,595	17.5%	1,478	18.5%	1,456	20.4%
要介護5	1,571	13.5%	1,701	16.4%	1,795	19.7%	1,919	24.0%	1,875	26.3%
計	11,648	100%	10,404	100%	9,107	100%	7,987	100%	7,124	100%

表 29-2 介護保険の介護度別訪問回数

介護度	今回		第 6 回 (R2. 6)	
	回数	割合	回数	割合
要支援1・2	12,231	13.6%	10,812	13.4%
要介護1	18,888	21.0%	16,693	20.6%
要介護2	19,397	21.6%	16,722	20.6%
要介護3	12,857	14.3%	11,503	14.2%
要介護4	13,785	15.3%	12,649	15.6%
要介護5	12,812	14.2%	12,604	15.6%
計	89,970	100%	80,983	100%

図 21 介護別訪問回数



介護度	第 5 回 (H30. 6)		第 4 回 (H28. 6)		第 3 回 (H26. 6)		第 2 回 (H24. 9)		第 1 回 (H22. 9)	
	回数	割合	回数	割合	回数	割合	回数	割合	回数	割合
要支援1・2	8,353	12.0%	6,421	10.1%	4,506	8.7%	3,024	6.9%	2,340	6.2%
要介護1	14,616	20.9%	11,577	18.2%	8,316	16.1%	6,123	13.9%	4,505	11.8%
要介護2	14,466	20.7%	12,620	19.8%	9,521	18.4%	7,816	17.7%	6,037	15.8%
要介護3	9,326	13.4%	9,284	14.6%	7,608	14.7%	6,949	15.8%	5,879	15.4%
要介護4	11,759	16.8%	11,214	17.6%	9,545	18.4%	8,582	19.5%	7,931	20.8%
要介護5	11,323	16.2%	12,598	19.8%	12,286	23.7%	11,560	26.2%	11,409	30.0%
計	69,843	100%	63,714	100%	51,782	100%	44,054	100%	38,101	100%

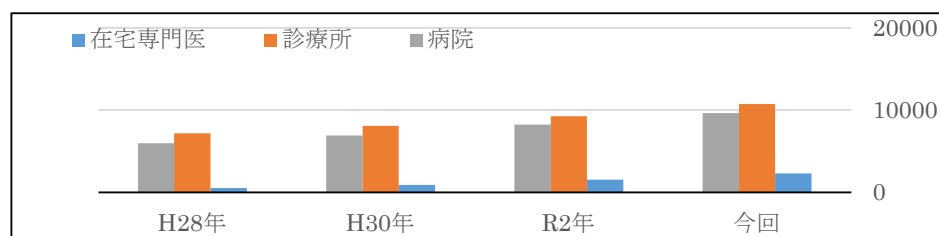
#### 4) 訪問看護指示書の発行元

令和 4 年 6 月に訪問した利用者の訪問看護指示書の発行元は、病院が 9,616 人 (42.5%)、診療所が 10,724 人 (47.4%)、在宅専門医が 2,297 人 (10.1%) で、前回調査とほぼ同じ割合であるが、在宅専門医からの指示書が増加している。

表 30 訪問看護指示書発行元

発行元	今回		第 6 回 (R2. 6)		第 5 回 (H30. 6)		第 4 回 (H28. 6)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
病院	9,616	42.5%	8,231	43.3%	6,914	43.6%	5,953	43.7%
診療所	10,724	47.4%	9,262	48.7%	8,079	50.9%	7,163	52.6%
在宅専門医	2,297	10.1%	1,537	8.1%	875	5.5%	500	3.7%
計	22,637	100%	19,030	100%	15,868	100%	13,616	100%

図 22 訪問看護指示書発行元



## 5) 令和4年6月、1か月間の新規利用者

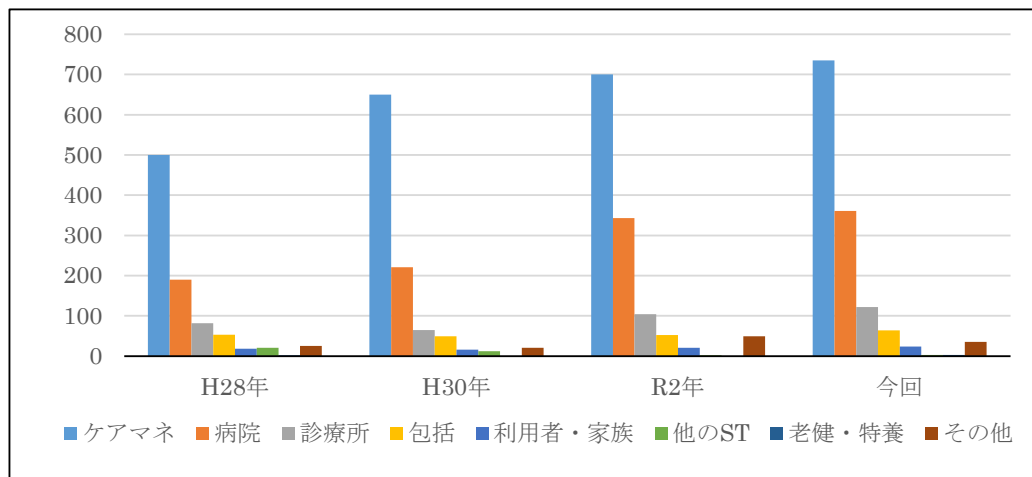
新規利用者数は、1,347人であった。新規利用者が0の事業所は18か所(6.9%)であった。新規利用者20件の事業所が1か所あった。

依頼の紹介先は、居宅介護支援事業所が735人(54.6%)で最も多い。次いで病院からの紹介が361人(26.8%)、診療所からの紹介は122人(9.1%)であった。地域包括支援センターからの紹介が64人(4.8%)、利用者・家族からの紹介が24人(1.8%)等であった。

表31 新規依頼の紹介先 (n=1,347)

紹介先	今回		第5回(H30.6)		第5回(H30.6)		第4回(H28.6)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
居宅介護支援事業所	735	54.6%	700	55.1%	650	62.9%	500	56.1%
病院	361	26.8%	343	27.0%	221	21.4%	190	21.3%
診療所	122	9.1%	104	8.2%	65	6.3%	82	9.3%
地域包括支援センター	64	4.8%	52	4.1%	49	4.7%	53	5.9%
利用者・家族	24	1.8%	21	1.7%	16	1.6%	18	2.0%
他のステーション	3	0.2%	2	0.2%	12	1.2%	21	2.4%
老健・特養	3	0.2%	0	0%	0	0%	2	0.2%
その他	35	2.6%	49	3.9%	21	2.0%	25	2.8%
計	1,347	100%	1,271	100%	1,034	100%	891	100%

図23 新規依頼の紹介先



## 6) 令和4年6月で終了した利用者数

令和4年6月で終了した利用者数は、950人であった。10人以上が終了した事業所が18か所(6.9%)あった。終了した利用者数が0の事業所は41か所(15.8%)であった。



## 7) 在宅での看取り数

令和3年度中の在宅での看取り数は、3,971件であった。

令和4年4月以降に新設された5か所の事業所を除く255か所の事業所の内、看取りを行った事業所は、212か所(83.1%)であった。看取り数1~5件の事業所が42か所と最も多く、次いで6~10件の看取りを行なっている事業所が37か所あった。100件を超える事業所が1か所あった。

看取り0の事業所は43か所(16.9%)で、前回調査より増加している。43か所の内17か所は精神に特化した事業所である。

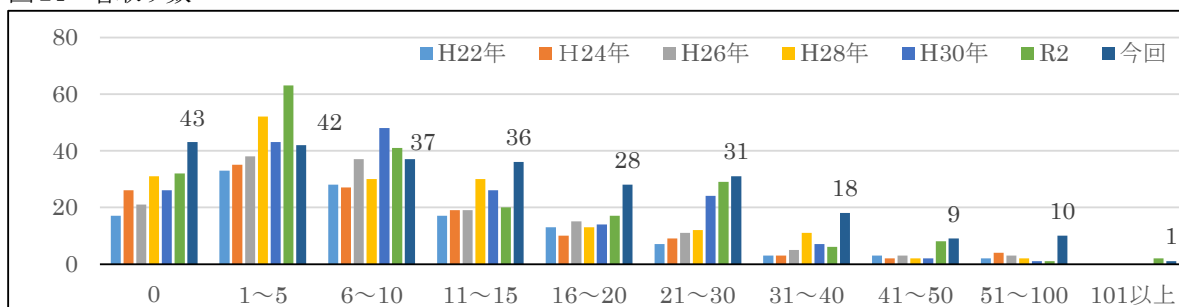
表 32-1 看取り数 (n=255)

看取り数	今回		第6回 (R2.6)		第5回 (H30.6)	
	事業所数	割合	事業所数	割合	事業所数	割合
0	43	16.9%	32	14.6%	26	13.6%
1~5	42	16.5%	63	28.8%	43	22.5%
6~10	37	14.5%	41	18.7%	48	25.1%
11~15	36	14.1%	20	9.1%	26	13.6%
16~20	28	11.0%	17	7.8%	14	7.3%
21~30	31	12.2%	29	13.2%	24	12.6%
31~40	18	7.1%	6	2.7%	7	3.7%
41~50	9	3.5%	8	3.7%	2	1.1%
51~100	10	3.9%	1	0.5%	1	0.5%
101以上	1	0.4%	2	0.9%	0	0%
計	255	100%	219	100%	191	100%

表 32-2 過去の看取り数の推移 (平成22年~平成28年)

看取り数	第4回 (H28.6)		第3回 (H26.6)		第2回 (H24.9)		第1回 (H22.9)	
	事業所数	割合	事業所数	割合	事業所数	割合	事業所数	割合
0	31	16.9%	21	13.8%	26	19.3%	17	13.8%
1~5	52	28.4%	38	25.0%	35	25.9%	33	26.9%
6~10	30	16.4%	37	24.3%	27	20.0%	28	22.8%
11~15	30	16.4%	19	12.5%	19	14.1%	17	13.8%
16~20	13	7.1%	15	9.9%	10	7.4%	13	10.6%
21~30	12	6.6%	11	7.2%	9	6.6%	7	5.7%
31~40	11	6.0%	5	3.3%	3	2.2%	3	2.4%
41~50	2	1.1%	3	2.0%	2	1.5%	3	2.4%
51以上	2	1.1%	3	2.0%	4	3.0%	2	1.6%
計	183	100%	152	100%	135	100%	123	100%

図24 看取り数



i) 事業所規模別の看取りの状況

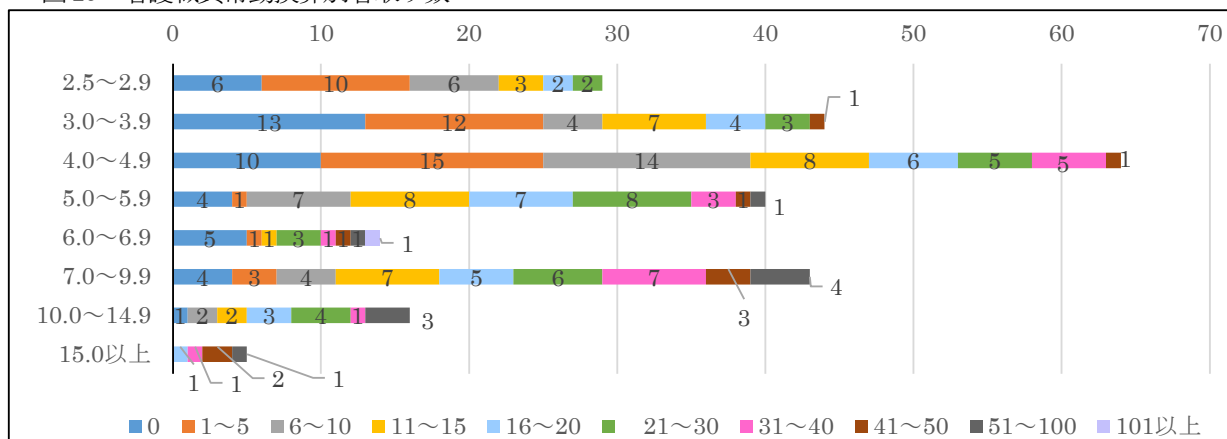
100件以上の看取りを行っている事業所が1か所あり、看護職員の常勤換算数は、6.2人であった。常勤換算数2.7人で28件、2.8人で21件、3.0人で44件以上の看取りを行っている事業所が各1か所あった。

常勤換算5人以上で看取り0の事業所14か所のうち、7か所は精神に特化した事業所である。

表33 看護職員常勤換算別看取り数 (n=255)

常勤換算	看取り数 (令和3年度中)										計
	0	1~5	6~10	11~15	16~20	21~30	31~40	41~50	51~99	100以上	
2.5~2.9	6	10	6	3	2	2	0	0	0	0	29
3.0~3.9	13	12	4	7	4	3	0	1	0	0	44
4.0~4.9	10	15	14	8	6	5	5	1	0	0	64
5.0~5.9	4	1	7	8	7	8	3	1	1	0	40
6.0~6.9	5	1	0	1	0	3	1	1	1	1	14
7.0~9.9	4	3	4	7	5	6	7	3	4	0	43
10.0~14.9	1	0	2	2	3	4	1	0	3	0	16
15.0以上	0	0	0	0	1	0	1	2	1	0	5
計	43	42	37	36	28	31	18	9	10	1	255

図25 看護職員常勤換算別看取り数



## ii) 地区別の看取りの状況

看取り数を地区別でみると、東部は1,157件で前回調査より388件増加している。中部は1,664件で前回調査より452件の増加で、地区別では最も多い。西部は1,150件で前回より499件の増加であった。

医療圏別の看取りの状況は、静岡医療圏が最も多く、990件（24.9%）であった。次いで多いのは志太・榛原医療圏で、674件（17.0%）であった。

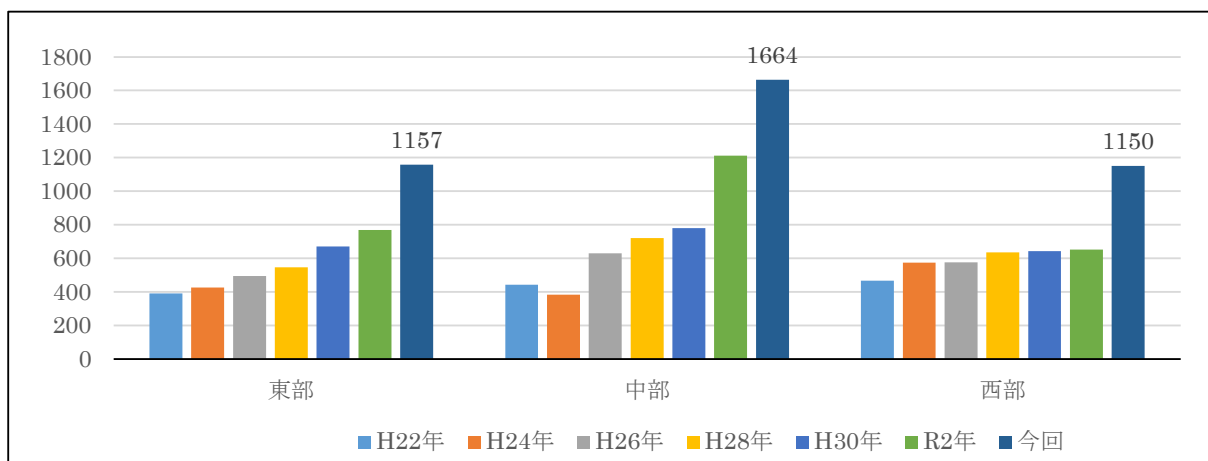
表 34-1 医療圏域・地区別看取り数 (n=255)

医療圏域(事業所数)		令和3年度				第6回 (R2.6)	
		看取り数		地区別 合計			
		数	割合	数	割合	数	割合
東部 (93)	賀茂 (8)	37	0.9%	1,157	29.1%	769	29.2%
	熱海・伊東 (11)	273	6.9%				
	駿東・田方 (49)	563	14.2%				
	富士 (25)	284	7.2%				
中部 (73)	静岡 (54)	990	24.9%	1,664	41.9%	1,212	46.0%
	志太・榛原 (19)	674	17.0%				
西部 (89)	中東遠 (24)	575	14.5%	1,150	29.0%	651	24.7%
	西部 (65)	575	14.5%				
計		3,971	100%	3,971	100%	2,632	100%

表 34-2 過去の地区別看取り数の推移 (平成22年～平成30年)

地区	第5回 (H30.6)		第4回 (H28.6)		第3回 (H26.6)		第2回 (H24.9)		第1回 (H22.9)	
	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合
東部	671	32.0%	546	28.7%	494	29.1%	425	30.8%	390	30.0%
中部	780	37.3%	720	37.9%	629	37.0%	383	27.7%	443	34.1%
西部	643	30.7%	635	33.4%	576	33.9%	574	41.5%	466	35.9%
計	2,094	100%	1,901	100%	1,699	100%	1,382	100%	1,299	100%

図 26 地区別看取り数



### iii) 在宅看取りの場所

在宅看取りの場所は、自宅が最も多く3,472件(87.4%)であった。次いで有料老人ホームが238件(6.0%)と前回調査より3倍増加している。サービス付き高齢者専用住宅130件(3.3%)、グループホーム93件(2.3%)、看護小規模多機能居宅介護は26件(0.7%)の看取りがあった。

表 35 在宅看取りの場所別

看取り場所	今回		第6回 (R2.6)		第5回 (H30.6)		第4回 (H28.6)	
	看取り数	割合	看取り数	割合	看取り数	割合	看取り数	割合
自宅	3,472	87.4%	2,390	90.8%	1,938	92.55%	1,815	95.48%
有料老人ホーム	238	6.0%	79	3.0%	36	1.72%	22	1.16%
サービス付き高齢者専用住宅	130	3.3%	63	2.4%	44	2.1%	24	1.26%
グループホーム	93	2.3%	77	2.9%	50	2.39%	40	2.1%
看護小規模多機能居宅介護	26	0.7%	10	0.38%	12	0.57%		
軽費老人ホーム	8	0.2%	1	0.04%	1	0.05%		
小規模多機能居宅介護	2	0.05%	9	0.34%	11	0.53%		
特別養護老人ホーム	1	0.03%	3	0.11%	2	0.1%		
短期入所生活介護	1	0.03%						
計	3,971	100%	2,632	100%	2,094	100%	1,901	100%

### 8) 医療処置の実施状況

全事業所が実施している医療処置は、これまでの調査同様、服薬だけである。

点滴・静脈注射・持続皮下注射、中心静脈栄養、ストーマケア、在宅酸素療法、吸入・吸引、褥瘡処置、留置カテーテル、ペインコントロール等に対応する事業所は9割を超えている。

表 36-1 医療処置の実施状況 (n=260)

処置の種類	今回		第6回 (R2.6)		第5回 (H30.6)	
	事業所数	割合	事業所数	割合	事業所数	割合
インスリン	256	98.5%	217	96.4%	197	99.5%
点滴・静脈・持続皮下注射	251	96.5%	219	97.3%	196	99.0%
中心静脈栄養	239	91.9%	211	93.8%	186	94.0%
在宅自己腹膜灌流	154	59.2%	140	62.2%	144	72.7%
ストーマケア	250	96.2%	216	96.0%	194	98.0%
在宅酸素療法	251	96.5%	218	96.9%	194	98.0%
人工呼吸器	211	81.2%	181	80.4%	168	84.9%
気管カニューレ	233	89.6%	204	90.7%	190	96.0%
吸入・吸引	251	96.5%	218	96.9%	195	98.5%
服薬	260	100%	225	100%	198	100%
経管栄養	248	95.4%	216	96.0%	193	97.5%
褥瘡処置	257	98.8%	220	97.8%	197	99.5%
留置カテーテル(膀胱内・膈、胃瘻)	246	94.6%	193	97.5%	193	97.5%
ペインコントロール	236	90.8%	185	93.4%	185	93.4%
リンパレナーゼ	168	64.6%				
在宅リハビリ(看護師)	241	92.7%	192	97.0%	192	97.0%
(PT・OT)	166	63.8%	120	60.6%	120	60.6%

表 36-2 過去の医療処置の実施状況の推移（平成 22 年～平成 28 年）

処置の種類	第 4 回 (H28. 6)		第 3 回 (H26. 6)		第 2 回 (H24. 9)		第 1 回 (H22. 9)	
	事業所数	割合	事業所数	割合	事業所数	割合	事業所数	割合
インスリン	185	98.4%	167	97.1%	125	96.2%		
点滴・静脈・持続皮下注射	185	98.4%	169	98.3%	130	96.3%	115	95.3%
中心静脈栄養	178	94.7%	161	93.6%	120	88.9%	104	84.6%
在宅自己腹膜灌流	131	69.7%	114	66.3%	89	65.9%	66	53.7%
ストーマケア	182	96.8%	167	97.1%	129	95.6%	117	95.1%
在宅酸素療法	182	96.8%	167	97.1%	132	97.8%	119	96.8%
人工呼吸器	165	87.8%	147	85.5%	115	85.2%	91	74.0%
気管カニューレ	178	94.7%	159	92.4%	122	90.4%	110	89.4%
吸入・吸引	185	98.4%	168	97.7%	130	96.3%	120	97.6%
服薬	188	100%	172	100%	135	100%	123	100%
経管栄養	184	97.9%	168	97.7%	131	97.0%	121	98.4%
褥瘡処置	184	97.9%	169	98.3%	134	99.3%	122	99.2%
留置カテーテル (膀胱内・瘻、胃瘻)	181	96.3%	166	96.5%	130	96.3%	120	97.6%
ペインコントロール	170	90.4%	157	91.3%	122	90.4%	108	87.8%
在宅リハビリ(看護師)	182	96.8%	166	96.5%	131	97.0%	118	95.9%
(PT・OT)	110	58.5%	95	55.2%	76	56.3%	68	55.3%

### 3. 対象者別対応状況

対象者別対応状況は、難病と悪性新生物に対してはほとんどの事業所が対応している。小児に対しては、これまでの調査の度に少しずつではあるが増加し、今回の調査では 17 か所増え、166 か所 (63.8%) である。

精神については、172 か所 (66.2%) が対応し、前回調査より 810 人増加している。

表 37-1 対象者別対応状況 (n=260)

対象	今回		第 6 回 (R2. 6)	
	事業所数	割合	事業所数	割合
小児	166	63.8%	149	66.2%
難病	245	94.2%	211	93.8%
悪性新生物	249	95.8%	214	95.1%
精神	172	66.2%	139	61.8%

図 27 対象者別対応状況

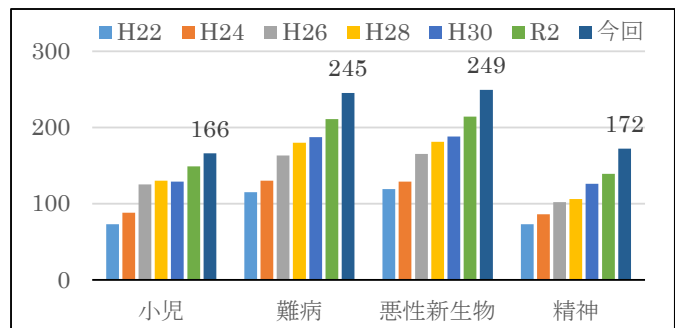


表 37-2 対象別対応状況 (第 1 回～第 5 回)

対象	第 5 回 (H30. 6)		第 4 回 (H28. 6)		第 3 回 (H26. 6)		第 2 回 (H24. 9)		第 1 回 (H22. 9)	
	事業所数	割合	事業所数	割合	事業所数	割合	事業所数	割合	事業所数	割合
小児	129	65.2%	130	69.2%	125	72.7%	88	65.2%	73	59.4%
難病	187	94.4%	180	95.7%	163	94.8%	130	96.3%	115	93.5%
悪性新生物	188	95.0%	181	96.3%	165	95.9%	129	95.6%	119	96.8%
精神	126	63.6%	106	56.4%	102	59.3%	86	63.7%	73	59.4%

表 38-1 小児 年齢別訪問利用者数

年齢	今回		第6回(R2.6)	
	人数	割合	人数	割合
1歳未満	83	14.2%	52	11.2%
1～6歳	237	40.4%	216	46.5%
6～15歳	213	6.3%	152	32.7%
16歳以上	53	9.0%	45	9.7%
計	586	100%	465	100%

図 28 小児 年齢別訪問利用者数

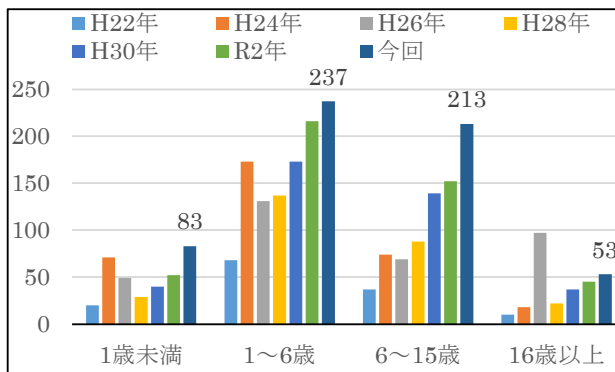


表 38-2 小児 年齢別利用者数 (第1回～第5回)

年齢	第5回(H30.6)		第4回(H28.6)		第3回(H26.6)		第2回(H24.9)		第1回(H22.9)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1歳未満	40	10.3%	29	10.5%	49	14.1%	71	21.1%	20	14.8%
1～6歳	173	44.5%	137	49.6%	131	37.9%	173	51.5%	68	50.4%
6～15歳	139	35.7%	88	31.9%	69	20.0%	74	22.0%	37	27.4%
16歳以上	37	9.5%	22	8.0%	97	28.0%	18	5.4%	10	7.4%
計	389	100%	276	100%	346	100%	336	100%	135	100%

表 39-1 難病 年齢別利用者数

年齢	今回		第6回(R2.6)	
	人数	割合	人数	割合
1～15歳	89	4.03%	151	7.4%
16～39歳	92	4.17%	68	3.3%
40～64歳	353	15.99%	315	15.5%
65～74歳	605	27.41%	561	27.6%
75～99歳	1,067	48.35%	940	46.2%
100歳以上	1	0.05%	0	0%
計	2,207	100%	2,035	100%

図 29 難病 年齢別利用者数

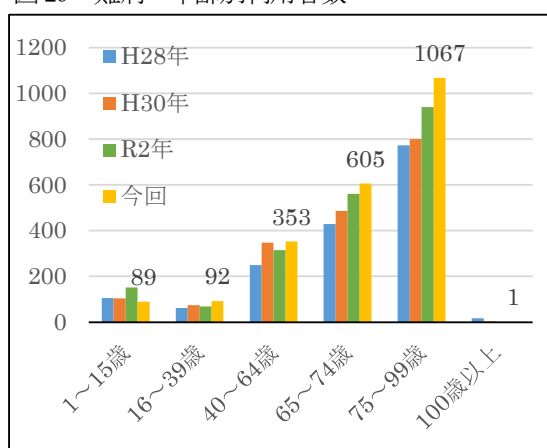


表 39-2 難病 年齢別利用者数 (第1回～第5回)

年齢	第5回(H30.6)		第4回(H28.6)		第3回(H26.6)		第2回(H24.9)		第1回(H22.9)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1～15歳	104	5.7%	105	6.43%	44	1.1%	133	2.5%	13	1.1%
16～39歳	74	4.1%	62	3.79%	125	3.0%	45	0.9%	45	3.7%
40～64歳	347	19.1%	249	15.24%	569	13.7%	900	17.0%	104	8.6%
65～74歳	485	26.8%	428	26.19%	1,703	40.9%	1,658	31.4%	274	22.6%
75～89歳	800	44.1%	773	47.31%	1,652	39.6%	2,525	47.8%	748	61.8%
90歳以上	3	0.2%	17	1.04%	73	1.7%	24	0.4%	26	2.2%
計	1,813	100%	1,634	100%	4,166	100%	5,285	100%	1,210	100%

表 40-1 悪性新生物 年齢別利用者数

年齢	今回		第 6 回 (R2. 6)	
	人数	割合	人数	割合
1～15 歳	8	0.17%	3	0.1%
16～39 歳	33	0.70%	21	0.6%
40～64 歳	439	9.33%	379	10.3%
65～74 歳	1,134	24.11%	844	22.9%
75～99 歳	3,039	64.62%	2,426	65.9%
100 歳以上	50	1.06%	9	0.2%
計	4,703	100%	3,682	100%

図 30 悪性新生物 年齢別利用者数

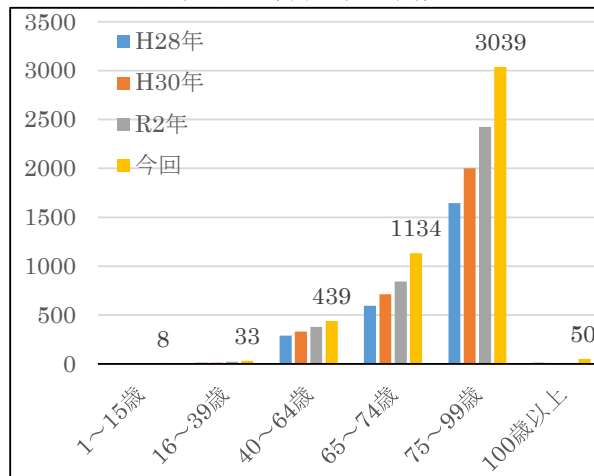


表 40-2 悪性新生物 年齢別利用者数 (第 1 回～第 5 回)

年齢	第 5 回 (H30. 6)		第 4 回 (H28. 6)		第 3 回 (H26. 6)		第 2 回 (H24. 9)		第 1 回 (H22. 9)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1～15 歳	5	0.2%	3	0.1%	5	0.2%	0	0%	0	0%
16～39 歳	12	0.4%	13	0.5%	10	0.3%	282	8.1%	4	0.2%
40～64 歳	331	10.8%	288	11.3%	478	15.9%	439	12.7%	161	9.7%
65～74 歳	711	23.2%	595	23.3%	629	21.0%	932	26.9%	404	24.4%
75～89 歳	2,002	65.3%	1,645	64.3%	1,639	54.6%	1,472	42.5%	888	53.5%
90 歳以上	6	0.2%	13	0.5%	241	8.0%	339	9.8%	203	12.2%
計	3,067	100%	2,557	100%	3,002	100%	5,285	100%	1,660	100%

表 41-1 精神科 年齢別利用者数

年齢	今回		第 6 回 (R2. 6)	
	人数	割合	人数	割合
15～39 歳	407	16.4%	246	14.7%
40～64 歳	1,299	52.3%	857	51.2%
65～74 歳	475	19.1%	311	18.6%
75～99 歳	304	12.2%	226	13.5%
100 歳以上	0	0%	35	2.1%
計	2,485	100%	1,675	100%

図 31 精神科 年齢別利用者数

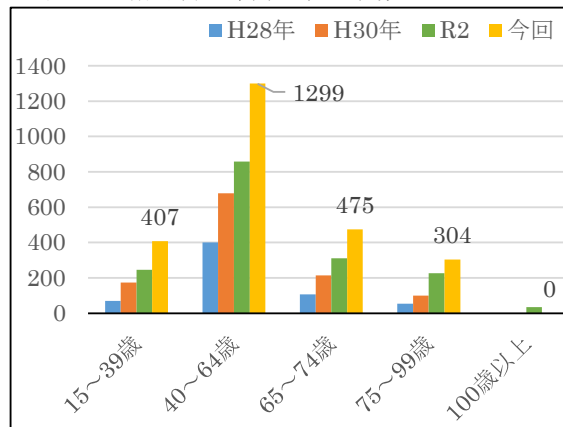


表 41-2 精神科 年齢別利用者数 (第 1 回～第 5 回)

年齢	第 5 回 (H30. 6)		第 4 回 (H28. 6)		第 3 回 (H26. 6)		第 2 回 (H24. 9)		第 1 回 (H22. 9)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
16～39 歳	70	11.1%	70	11.1%	78	11.7%	102	11.2%	38	12.2%
40～64 歳	400	63.5%	400	63.5%	307	46.1%	495	54.2%	148	47.6%
65～74 歳	107	17.0%	107	17.0%	140	21.0%	210	23.0%	49	15.8%
75～89 歳	53	8.4%	53	8.4%	104	15.6%	97	10.6%	60	19.3%
90 歳以上	0	0.0%	0	0.0%	37	5.6%	9	1.0%	16	5.1%
計	630	100%	630	100%	666	100%	913	100%	311	100%

#### 4. 令和3年度看護職員（保健師・助産師・看護師・准看護師）の就業・求人状況

##### 1) 新規就業者数（令和3年度中）

令和4年4月以降に新設された5か所の事業所を除く255か所の事業所の、令和3年度中の新規就業者数は、常勤295人（64.4%）、非常勤163人（35.6%）で、前回調査同様常勤の就業者が増加している。就業者の看護職としての経験年数は、これまでの調査同様、常勤・非常勤共に10年以上が最も多く、常勤・非常勤合わせて323人（70.5%）である。

就業前の職場は、常勤・非常勤共に病院・診療所が最も多く、263人（57.4%）である。無職だった人は、常勤で4人、非常勤で15人で合計19人（4.1%）であった。

就業につながった募集方法は、常勤・非常勤共に「紹介」が最も多く191人（41.7%）であった。「その他」は、法人内の勤務異動や本人から直接連絡があった他、ホームページをみての応募等で147人（32.1%）が就業している。

表 42 看護職員の新規就業者数（n=255）

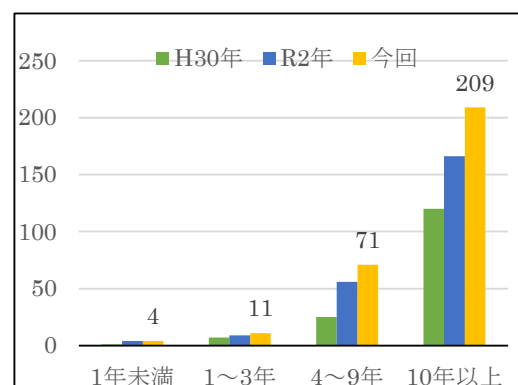
	今回		第6回 (R2.6)		第5回 (H30.6)		第4回 (H28.6)		第3回 (H26.6)		第2回 (H24.9)		第1回 (H22.9)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
常勤	295	64.4%	235	58.9%	153	52.9%	156	56.5%	144	47.7%	89	50.9%	56	34.8%
非常勤	163	35.6%	164	41.1%	136	47.1%	110	39.9%	158	52.3%	86	49.1%	105	65.2%
計	458	100%	399	100%	289	100%	276	100%	302	100%	175	100%	161	100%

表 43 看護職員としての経験年数

##### 【常勤】

経験年数	今回		第6回 (R2.6)		第5回 (H30.6)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1年未満	4	1.4%	4	1.7%	1	0.7%
1～3年	11	3.7%	9	3.8%	7	4.6%
4～9年	71	24.1%	56	23.8%	25	16.3%
10年以上	209	70.8%	166	70.6%	120	78.4%
計	295	100%	235	100%	153	100%

図 32-1 看護職員としての経験年数【常勤】



##### 【非常勤】

経験年数	今回		第6回 (R2.6)		第5回 (H30.6)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1年未満	1	0.6%	4	2.4%	0	0%
1～3年	4	2.5%	10	6.1%	3	2.2%
4～9年	44	27.0%	45	27.4%	21	15.4%
10年以上	114	69.9%	105	64.0%	112	82.4%
計	163	100%	164	100%	136	100%

図 32-2 看護職員としての経験年数【非常勤】

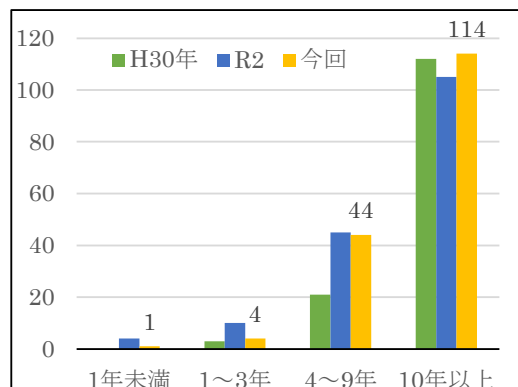




表 44 訪問看護の経験

経験の有無	今回				第6回 (R2.6)				第5回 (H30.6)			
	常勤		非常勤		常勤		非常勤		常勤		非常勤	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
経験あり	90	30.5%	46	28.2%	91	38.7%	42	25.6%	65	42.5%	40	29.4%
経験なし	205	69.5%	117	71.8%	144	61.3%	122	74.4%	88	57.5%	96	70.6%
計	295	100%	163	100%	253	100%	164	100%	153	100%	136	100%

表 45 就職前の職場

経験の有無	今回				第6回 (R2.6)				第5回 (H30.6)			
	常勤		非常勤		常勤		非常勤		常勤		非常勤	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
病院・診療所	181	61.4%	82	50.3%	138	58.7%	103	62.8%	90	58.8%	62	45.6%
介護施設	53	18.0%	33	20.2%	42	17.9%	26	15.9%	28	18.3%	34	25.0%
その他	57	19.3%	33	20.2%	55	23.4%	16	9.8%	32	20.9%	30	22.1%
無職	4	1.4%	15	9.2%	0	0%	19	11.6%	3	2.0%	10	7.4%
計	295	100%	163	100%	235	100%	136	100%	153	100%	136	100%

表 46 新採用者の募集方法

	今回				第6回 (R2.6)				第5回 (H30.6)			
	常勤		非常勤		常勤		非常勤		常勤		非常勤	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
ナースセンター	6	2.0%	13	8.0%	12	5.1%	28	17.1%	13	8.5%	10	7.4%
ハローワーク	27	9.2%	18	11.0%	25	10.6%	16	9.8%	14	9.2%	21	15.4%
求人誌	34	11.5%	22	13.5%	25	10.6%	18	11.0%	7	4.6%	10	7.4%
紹介	126	42.7%	65	39.9%	76	32.3%	53	32.3%	70	45.8%	60	44.1%
その他	102	34.6%	45	27.6%	97	41.3%	49	29.9%	40	32.0%	35	25.7%
計	295	100%	163	100%	235	100%	164	100%	153	100%	136	100%

## 2) 求人状況 (令和4年6月現在)

求人状況は、常勤の募集が144か所、非常勤の募集が99か所で、募集人数は合計354人であった。求人方法は、前回調査と同様、ハローワークが最も多く、次いでナースセンターであった。

表 47 求人方法 (複数回答 n=243)

求人方法	今回		第6回 (R2.6)		第5回 (H30.6)	
	事業所数	割合	事業所数	割合	事業所数	割合
ハローワーク	121	49.8%	107	51.4%	78	39.0%
ナースセンター	81	33.3%	65	31.3%	117	57.5%
求人誌	60	24.7%	44	21.2%	40	20.0%
その他	61	25.1%	53	25.5%	43	21.5%
計	323		269		278	

## 5. 令和3年度看護職員（保健師・助産師・看護師・准看護師）の退職状況

令和4年4月以降に新設された5か所の事業所を除く255か所の事業所の退職者は、常勤123人（55.4%）、非常勤99人（44.6%）の合計222人であった。前回調査より17人増加している。

常勤の退職者0の事業所は165か所（64.7%）、非常勤の退職者0の事業所は189か所（74.1%）で、6～7割の事業所では退職者はいない。

常勤の退職数は、1人が最も多く、69か所（27.1%）であった。

常勤の退職者が7人の事業所が1か所あった。その退職理由は、「定年」、「本人の健康」、「休暇がとれない」、「給与に不満」、「携帯当番の負担」、「責任の重さ」等であった。

非常勤の退職数も1人が最も多く、43か所（16.9%）であった。

非常勤でも、退職者が最も多かった事業所では6人が退職をしている。その退職理由は、「本人の健康」、「休暇がとれない」「給与に不満」「責任の重さ・医療事故への不安」等であった。

勤続年数で見ると、常勤・非常勤共に1年未満の退職が最も多い。次に5年以上である。就業して2年以内での退職は、常勤では69人（56.1%）、非常勤では50人（50.5%）あった。

常勤2年以内の退職理由で最も多いのは「訪問看護が合わない」が10人（14.5%）であった。その他は、「本人の健康」「家族の健康」「給与に不満」「携帯当番の負担」「転居」であった。

非常勤2年以内の退職理由で最も多いのは「訪問看護が合わない」が8人（16.0%）であった。「看護の内容が簡単ではなかった」「利用者からのクレームがづらい」「一人での訪問に不安」「独居での緩和ケア生活がたらくてみていられない」等であった。

その他は「本人の健康」「転居」「人間関係」「給与に不満」「車の運転が不安」であった。

全体としての退職理由は、「本人の健康問題」が最も多く、次いで「訪問看護が合わない」「給与に不満」「携帯当番が負担」であった。

### 【常勤退職者について】

表 48 常勤の退職者状況（n=255）

退職者数	事業所数	
	数	割合
0	165	64.7%
1	69	27.1%
2	15	5.9%
3	3	1.2%
4	2	0.8%
7	1	0.4%
計	255	100%

### 【非常勤退職者について】

表 49 非常勤の退職者状況（n=255）

退職者数	事業所数	
	数	割合
0	189	74.1%
1	43	16.9%
2	17	6.7%
3	4	1.6%
4	1	0.4%
6	1	0.4%
計	255	100%

表 50-1 常勤退職者の勤続年数 (n=123)

勤続年数	今回		第6回(R2.6)	
	人数	割合	人数	割合
1年未満	51	41.5%	37	31.4%
1~2年未満	18	14.6%	30	25.4%
2~3年未満	10	8.1%	16	13.6%
3~5年未満	11	8.9%	9	7.6%
5年以上	33	26.8%	26	22.0%
計	123	100%	118	100%

図 33 常勤退職者の勤務年数

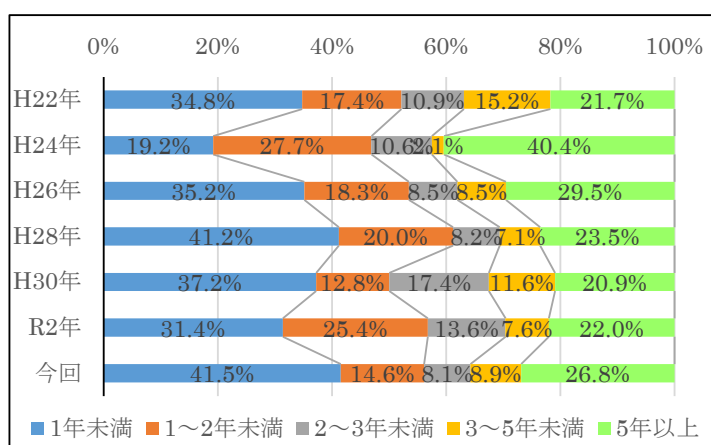


表 50-2 常勤退職者の勤続年数 (第1回~第5回)

勤続年数	第5回(H30.6)		第4回(H28.6)		第3回(H26.6)		第2回(H24.9)		第1回(H22.9)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1年未満	32	37.2%	35	41.2%	25	35.2%	9	19.2%	16	34.8%
1~2年未満	11	12.8%	17	20.0%	13	18.3%	13	27.7%	8	17.4%
2~3年未満	15	17.4%	7	8.2%	6	8.5%	5	10.6%	5	10.9%
3~5年未満	10	11.6%	6	7.1%	6	8.5%	1	2.1%	7	15.2%
5年以上	18	20.9%	20	23.5%	21	29.5%	19	40.4%	10	21.7%
計	86	100%	85	100%	71	100%	47	100%	46	100%

表 51 主な退職理由 (n=123 複数回答)

退職理由	今回		第6回(R2.6)		第5回(H28.6)		第4回(H26.6)		第3回(H24.9)		第2回(H22.9)		第1回(H20.9)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
本人の健康	26	21.1%	20	16.9%	12	14.0%	14	16.5%	13	18.3%	8	17.0%	10	21.7%
訪問看護が合わない	13	10.6%	15	12.7%	11	12.8%	8	9.4%	9	12.7%	3	6.4%		
給与に不満	13	10.6%	12	10.2%	10	11.6%	6	7.1%	5	7.0%	7	14.9%	1	2.2%
家族の健康	13	10.6%	11	9.3%	6	7.0%	4	4.7%	4	5.6%	8	17.0%	4	8.7%
携帯担当が負担	12	9.8%	15	12.7%	9	10.5%	10	11.8%	5	7.0%	7	14.9%	4	8.7%
転居	8	6.5%	13	11.0%	5	5.8%	4	4.7%	4	5.6%	4	8.5%	6	12.8%
責任・医療事務への不安	6	4.9%	6	5.1%	6	7.0%	4	4.7%	3	4.2%	2	4.3%	0	0%
人間関係	5	4.1%	10	8.5%	12	14.0%	4	4.7%	7	9.9%	6	12.8%	1	2.2%
定年	5	4.1%	7	5.9%	5	5.8%								
休暇がとれない	3	2.4%	4	3.4%	0	0%	5	5.9%	4	5.6%	1	2.1%	0	0%
結婚	2	1.6%	2	1.7%	3	3.5%	2	2.4%	1	1.4%	1	2.1%	2	4.4%
出産・育児	2	1.6%	0	0%	2	2.3%	6	7.1%	5	7.0%	3	6.4%	5	10.9%
進学	2	1.6%	0	0%	0	0%	1	1.2%	0	0%	0	0%	0	0%
勤務時間が長い・起きれない	1	0.8%	2	1.7%	3	3.5%	5	5.9%	1	1.4%	0	0%	1	2.2%
コロナ感染の不安	1	0.8%												
利用者の暴言暴力	0	0%	0	0%										
その他	31	25.2%	33	28.0%	19	22.1%	26	30.6%	16	22.5%	10	21.3%	14	30.4%
計	143													

表 52-1 非常勤退職者の勤務年数 (n=99)

勤務年数	今回		第6回 (R2.6)	
	人数	割合	人数	割合
1年未満	28	28.3%	24	27.6%
1~2年未満	22	22.2%	19	21.8%
2~3年未満	10	10.1%	10	11.5%
3~5年未満	12	12.1%	16	18.4%
5年以上	27	27.3%	18	20.7%
計	99	100%	87	100%

図 34 非常勤退職者の勤務年数

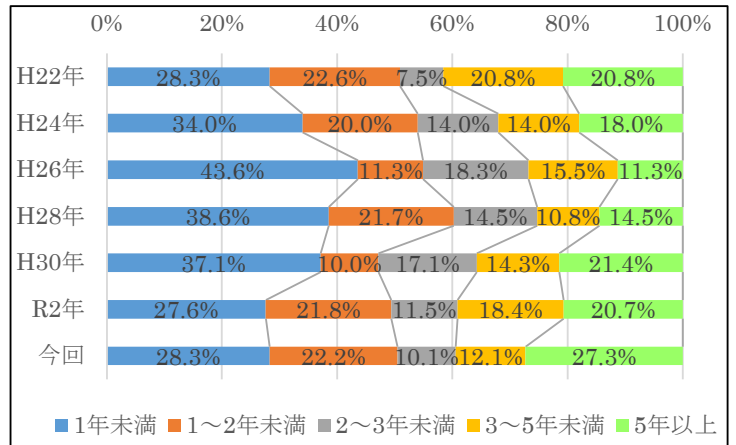


表 52-2 非常勤退職者の勤務年数 (第1回~第5回)

勤務年数	第5回 (H30.6)		第4回 (H28.6)		第3回 (H26.6)		第2回 (H24.9)		第1回 (H22.9)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1年未満	26	37.1%	32	38.6%	31	43.6%	17	34.0%	15	28.3%
1~2年未満	7	10.0%	18	21.7%	8	11.3%	10	20.0%	12	22.6%
2~3年未満	12	17.1%	12	14.5%	13	18.3%	7	14.0%	4	7.5%
3~5年未満	10	14.3%	9	10.8%	11	15.5%	7	14.0%	11	20.8%
5年以上	15	21.4%	12	14.5%	8	11.3%	9	18.0%	11	20.8%
計	70	100%	83	100%	71	100%	50	100%	53	100%

表 53 主な退職理由 (n=99 複数回答)

退職理由	今回		第6回 (R2.6)		第5回 (H28.6)		第4回 (H28.6)		第3回 (H26.6)		第2回 (H24.9)		第1回 (H22.9)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
本人の健康	17	17.2%	15	17.2%	12	17.1%	14	16.9%	6	8.5%	9	18.0%	14	26.4%
家族の健康	14	14.1%	14	16.1%	9	12.9%	5	6.0%	12	16.9%	8	6.0%	5	9.4%
転居	9	9.1%	11	12.6%	4	5.7%	5	6.0%	9	12.7%	3	6.0%	6	11.3%
訪問看護が合わない	8	8.1%	12	13.8%	6	8.6%	4	4.8%	3	4.2%	5	10.0%		
給与に不満	7	7.1%	3	3.4%	3	4.3%	3	3.6%	1	1.4%	4	8.0%	1	1.9%
責任・医療事故への不安	6	6.1%	4	4.6%	8	11.4%	4	4.8%	8	11.3%	3	6.0%	2	3.8%
定年	5	5.1%	0	0%	1	1.4%								
出産・育児	4	4.0%	5	5.7%	3	4.3%	8	9.6%	5	7.0%	7	14.0%	6	11.3%
人間関係	2	2.0%	7	8.0%	0	0%	6	7.2%	2	2.8%	3	6.0%	3	5.7%
休暇がとれない	2	2.0%	1	1.1%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
携帯当番が負担	2	2.0%	0	0%	2	2.9%	1	1.2%	0	0%	0	0%	0	0%
結婚	1	1.0%	2	2.3%	1	1.4%	0	0%	1	1.4%	0	0%	3	5.7%
勤務時間が長い・超勤多い	1	1.0%	2	2.3%	0	0%	0	0%	2	2.8%	0	0%	0	0%
コロナ感染の不安	1	1.0%												
進学	0	0%	0	0%	0	0%	1	1.2%	0	0%	0	0%	0	0%
利用者の暴言暴力	0	0%	0	0%										
その他	23	23.2%	19	21.8%	28	40.0%	39	47.0%	27	38.0%	17	34.0%	13	24.5%
計	102													

## 退職理由の記述から

常勤	非常勤
訪問看護ステーションの起業	利用者からのクレームがづらい
職場内の人間関係	看護の内容が簡単ではなかった
家族の介護	独居での緩和ケア生活が辛くてみていられない
結婚のため非常勤へ転換	アセスメントと先をみて看護を行うことが苦手
通勤時間が負担	一人での訪問が不安
子育てとの両立	収入を増やしたい
離婚により転職	家族の介護
訪問運転中の事故	自宅に近いところへ転職
夫の転勤	車の運転が不安
法人内の異動	ダブルワークで継続困難

## 退職後の動向

退職後の動向は、分かっている範囲では、前回調査では常勤・非常勤共に、介護施設が最も多かったが、今回調査では常勤・非常勤共に他の訪問看護ステーションが多い。

表 54 退職後の転職先

転職先	常勤		非常勤	
	人数	割合	人数	割合
病院・診療所	16	13.0%	12	12.1%
介護施設	10	8.1%	10	10.1%
他のステーション	23	18.7%	18	18.2%
その他	16	13.0%	21	21.2%
不明	58	47.2%	38	38.4%
計	123	100%	99	100%

## 6. 利用者からのハラスメントについて

### ハラスメントの有無とハラスメントの種類

令和2年4月から令和4年3月までの2年間の訪問で、精神的暴力・身体的暴力・セクシャルハラスメント等を受けたことがあると回答した事業所は、99か所（38.8%）あった。

ハラスメントの種類別では、精神的暴力は70か所（70.7%）、身体的暴力は28か所（28.3%）、セクシャルハラスメントは69か所（69.7%）であった。

表55 利用者からのハラスメント（n=255）

	ハラスメント有無	精神的	身体的	セクシャル
ある	99 (38.8%)	70 (70.7%)	28 (28.3%)	69 (69.7%)
ない	156 (61.2%)			

図35 ハラスメントの有無（n=255）

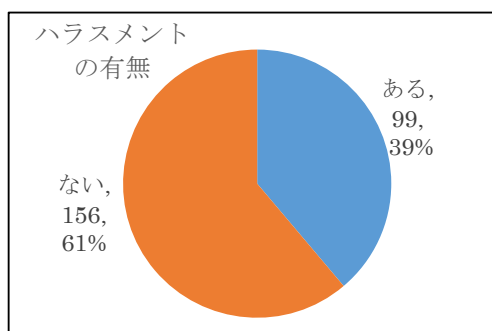
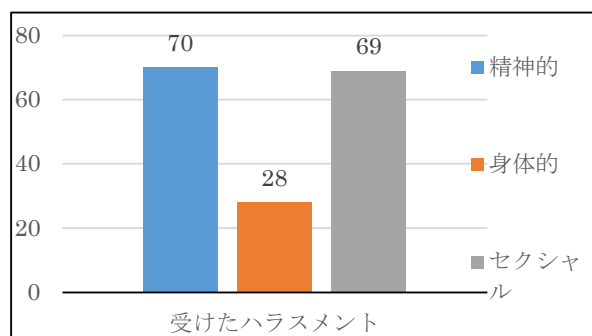


図36 ハラスメントの種類（n=99）複数回答



### ハラスメントの内容と対応

ハラスメントの内容とその後の対応状況については、95件の記述があった。暴言・暴力についてはケアマネジャーに報告し、主治医やケアマネ等に報告・相談したり、本人や家族を交えて話合ったりしている。

ハラスメントへの対応は、複数名訪問にしたり、男性職員と一緒に訪問したり、担当者を変更する等工夫をしているが、中には訪問を中止したケースもあった。

### ハラスメントの内容・対応の記述から

	ハラスメントの内容	利用者・家族への対応・その後
1	暴言、大声、包丁を持ち出す。目の前でガラス戸をたたき割る。	家族の同席を求める。複数名訪問とし、男性スタッフと同行する。
2	長時間にわたる電話でのクレーム	対応方法の統一を検討し、訪問継続する。
3	処置時殴られたり、蹴られたり、手を齧られた。	二人対応にしたら暴力はなくなった。
4	訪問時性器の露出、看護師に抱きつく等の行為。	何度も注意し、このままでは訪問継続できない旨を伝えた上で、訪問中止する。
5	少しの手順の違いなどに必要以上に怒鳴る。しつこくメールがくる。	医療依存度の高い人で、家族留守中のため2人訪問で対応。
6	監視カメラをつける。看護師の話を録音するなどと言って、精神的な暴力を受けた。	家族と何度も話し合いをする。看護師2人体制で訪問継続。

## 7. 管理者について

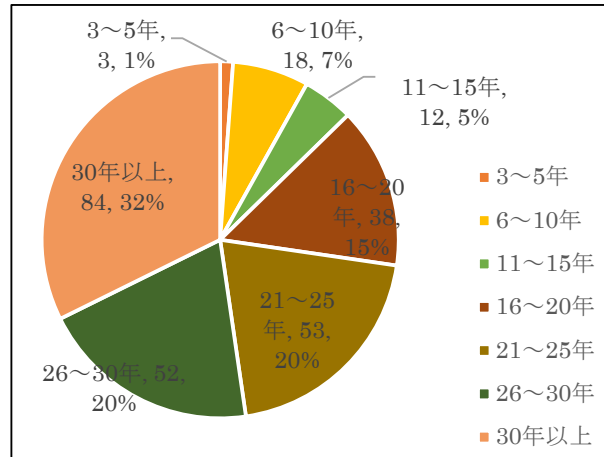
### 1) 看護師経験年数（通算）

看護師としての経験年数は、30年以上が84人（32.3%）と最も多い。20年以上の看護師経験が207人（79.6%）と約8割を占めている。看護師経験が3～5年が3人（1.2%）であった。

表 56 看護師経験年数（通算）（n=260）

	数	割合
3年未満	0	0%
3～5年	3	1.2%
6～10年	18	6.9%
11～15年	12	4.6%
16～20年	38	14.6%
21～25年	53	20.4%
26～30年	52	20.0%
30年以上	84	32.3%
計	260	100%

図 37 看護師経験年数（通算）（n=260）



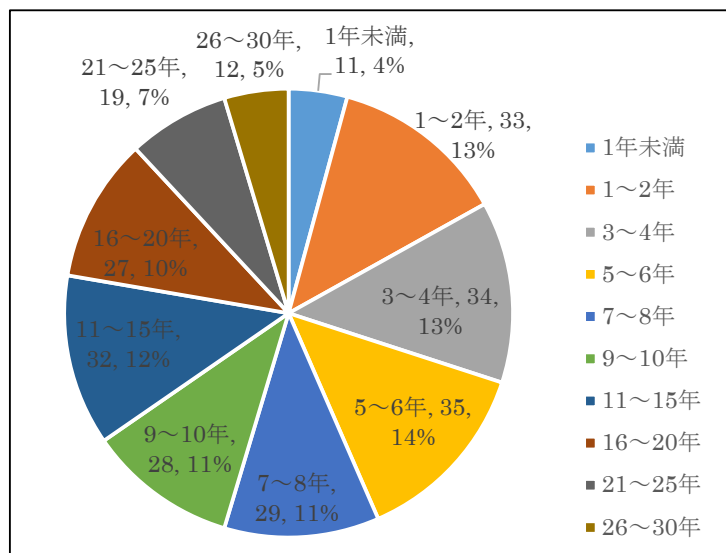
### 2) 訪問看護師としての経験年数

訪問看護師としての経験年数で最も多いのは、5～6年で35人（13.5%）であった。次いで多かったのは3～4年で、34人（13.1%）であった。1年未満が11人（4.2%）、26～30年が12人（4.6%）であった。

表 57 訪問看護経験年数（n=260）

	数	割合
1年未満	11	4.2%
1～2年	33	12.7%
3～4年	34	13.1%
5～6年	35	13.5%
7～8年	29	11.2%
9～10年	28	10.8%
11～15年	32	12.3%
16～20年	27	10.4%
21～25年	19	7.3%
26～30年	12	4.6%
計	260	100%

図 38 訪問看護経験年数（n=260）



### 3) 訪問看護での管理者経験年数

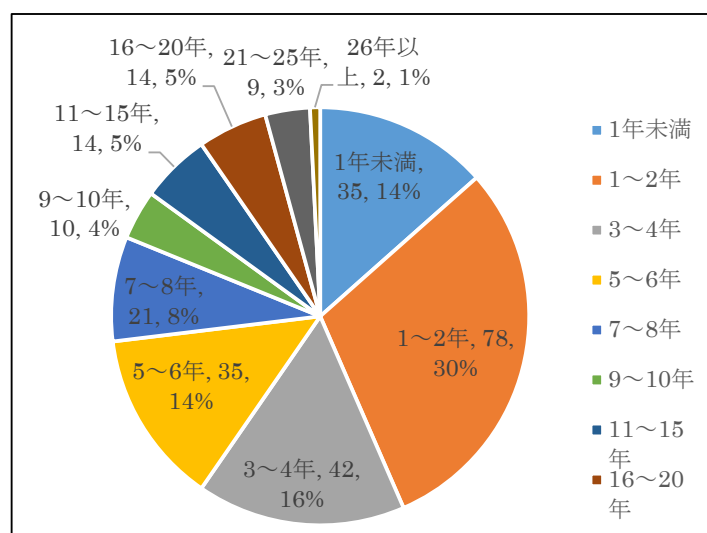
訪問看護での管理者経験年数で最も多いのは、1～2年で78人（30.0%）であった。次いで多いのは、3～4年で42人（16.2%）であった。

管理者としての経験年数が1年未満が35人（13.5%）であった。5年未満は155人（59.6%）と約6割であった。管理者経験21年以上が11名（4.3%）であった。

表 58 訪問看護管理者経験年数（n=260）

	数	割合
1年未満	35	13.5%
1～2年	78	30.0%
3～4年	42	16.2%
5～6年	35	13.5%
7～8年	21	8.1%
9～10年	10	3.8%
11～15年	14	5.4%
16～20年	14	5.4%
21～25年	9	3.5%
26年以上	2	0.8%
計	260	100%

図 39 訪問看護管理者経験年数（n=260）





## 8. 新型コロナウイルス感染症による影響について

### 1) 感染拡大前と比べ新規利用者数は

感染拡大前と比べ、新規利用者数は「変わらない」事業所が182か所（70.0%）であった。その理由として、「感染拡大直後は一時期減ったが、その後は元に戻っている」「一時期新規者が増えたが、感染が落ち着き減っている」「訪問看護のニーズには影響なかった」等の記述があった。

新規利用者数が「減った」事業所は、21か所（8.1%）であった。その理由として、「併設病院のコロナ対策が厳しく、訪問への規制が多すぎた」「家族以外の出入りを控えている」「新しい人に自宅へ入ってほしくないと言われた」等の記述があった。

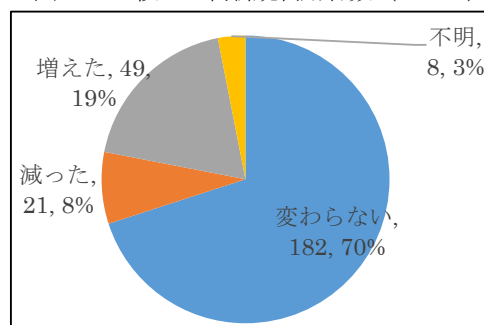
新規利用者数が「増えた」事業所は、49か所（18.8%）であった。考えられる理由として、「入院による面会制限のため家族が不満や不安を感じた」「病院では面会できないので在宅希望が増えた」「在宅で最期を迎えたい人が増えた」等の記述があった。

コロナ禍で開設した事業所8か所（3.1%）は、感染拡大前との比較は不明を回答している。

表 59 感染拡大前と比較した新規利用者数（n=260）

	数	割合
変わらない	182	70.0%
減った	21	8.1%
増えた	49	18.8%
開設間もなく不明	8	3.1%
計	260	100%

図 40 比較した利新規利用者数（n=260）



### 2) 訪問回数は

訪問回数は「変わらない」事業所が168か所（64.6%）であった。考えられる理由には、「感染が心配でお休みの人もいたが、デイをお休みにするので希望する人もいた」「感染予防対策について、十分な説明ができたため」等の記述があった。

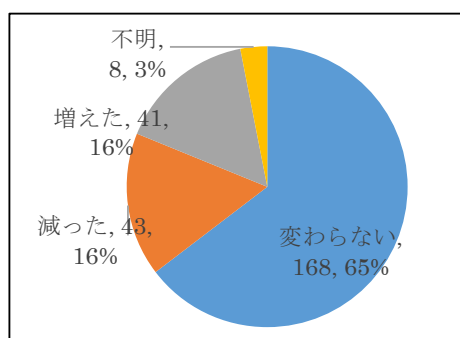
訪問回数が「減った」事業所は、43か所（16.5%）であった。その理由として「利用者や家族が感染を恐れ、訪問を一時中止」「都会から家族が来たので、本人が訪問を遠慮」「訪問リハビリの回数減少」等の記述があった。

訪問回数が「増えた」事業所は、41か所（15.8%）であった。その理由として「医療依存度の高い人や看取りの人への対応が増えた」「活動場所の減少、人と関わる機会の減少、不安や生活上の困りごと等の増加」「介護力の低い家族の依頼や退院時に家族が介護指導を受けていないため」等の記述があった。

表 60 感染拡大前と比較した訪問回数（n=260）

	数	割合
変わらない	168	64.6%
減った	43	16.5%
増えた	41	15.8%
開設間もなく不明	8	3.1%
計	260	100%

図 41 比較した訪問回数（n=260）



### 3) 利用者の感染状況

利用者が感染した事業所は156か所(60.0%)であった。感染者数は、65歳未満が80人、65歳以上が275人であった。

表 61 利用者の感染状況と年齢と人数 (n=260)

	事業所数	割合	65歳未満の感染者数	65歳以上の感染者数
感染者が発生した	156	60.0%	80	275
感染者は発生しない	104	40.0%		
計	260	100%		

### 4) 感染した患者の新規依頼について

感染した患者の新規依頼については、230か所(88.5%)には依頼がなかった。

依頼があったが断った事業所が11か所(4.2%)あった。

その理由は、① スタッフ不足

② 感染すると他の利用者へ訪問できない

③ 急な依頼で十分な防護装備の準備ができなかった

④ 利用している事業所が多く、家族のサポートがある

⑤ 法人の方針・会社の意向

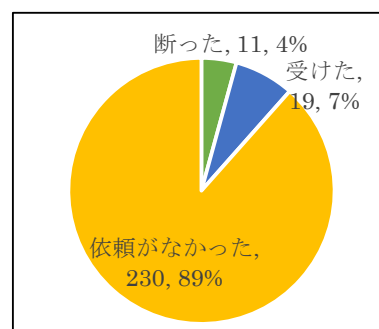
⑥ 高齢独居であり、訪問看護だけでは支えきれない 等であった。

依頼を受けた事業所は19か所(7.3%)で、1人～最大8人まで対応し、合計50人に対応している。

表 62 感染した患者の新規依頼への対応状況 (n=260)

	事業所数	割合	依頼を受けた人数
依頼を断った	11	4.2%	
依頼を受けた	19	7.3%	50
依頼がなかった	230	88.5%	
計	260	100%	

図 42 対応状況 (n=260)



### 5) 利用者への感染症の影響について

利用者への感染症の影響について、60の記述があった。主な記述は、「面会できないことを理由に、入院・入所を希望しない」「発熱時かかりつけ医に診てもらえないケースがあった」「行動制限により活動量の低下、体力低下がみられた」「デイが利用できず、入浴ができない、ADLが低下してしまった」「精神的に不安定になったり、ストレスを抱えている利用者が増えた」「遠方の家族が帰って来られない」「小児の利用者の両親・兄弟がコロナ感染症に罹患し、利用者を看ることができなくなった家が4件あり、訪問で対応した」等であった。

### 6) 感染拡大で事業所が困ったこと

感染症拡大で事業所が困ったことについては、91の記述があった。最も多かったのは「職員が感染したり濃厚接触者になり、人員不足で訪問調整が大変」だったで、次いで「マスクやガウン、消毒用エタノールや、抗原検査キットなどの物資の不足」であった。その他「夏場は、感染防護具装着により、熱中症対策が大変だった」「感染防護具の購入費用がかかる」「オンラインミーティングや直行直帰により、スタッフ間のコミュニケーションが停滞した」「もし感染したらという不安を常に抱えている」等であった。

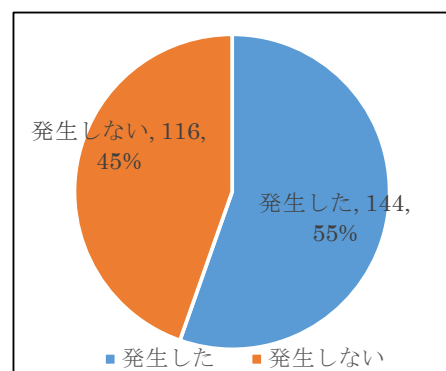
## 7) スタッフの感染・濃厚接触者の発生状況

スタッフがコロナウイルスに感染や濃厚接触者になった事業所は、144 か所 (55.4%) で、発生した人数は合計 268 人であった。144 か所の内、精神に特化した事業所 1 か所が 2 週間休止している。休止期間中は、出勤可能なスタッフで電話や玄関先で利用者への対応を行っている。

表 63 スタッフの感染状況 (n=260)

	事業所数	割合	発生した人数	事業所の休止
感染・濃厚接触者が発生した	144	55.4%	268	1
感染・濃厚接触者が発生しない	116	44.6%		
計	260	100%		

図 43 スタッフの感染状況 (n=260)



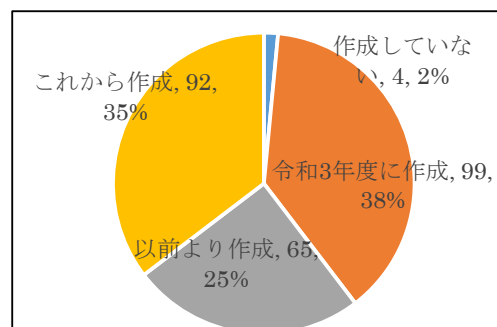
## 8) 感染マニュアル・BCPの作成状況

感染マニュアルやBCPの作成状況は、「以前より作成している」事業所が 65 か所 (25.0%)、「令和3年度に作成した」事業所が 99 か所 (38.1%)、「これから作成予定」の事業所が 92 か所 (35.4%)、「作成していない」事業所が 4 か所 (1.5%) であった。

表 64 感染マニュアル・BCPの作成状況 (n=260)

	事業所数	割合
作成していない	4	1.5%
令和3年度に作成	99	38.1%
以前より作成している	65	25.0%
これから作成予定	92	35.4%
計	260	100%

図 44 感染マニュアル・BCPの作成状況 (n=260)





## 令和4年度 静岡県訪問看護ステーション実態調査票

締切：7月20日(水)まで

### 1. 訪問看護ステーションの概要

一般社団法人静岡県訪問看護ステーション協議会

<b>事業所名</b>			
<b>開設年月日</b>	年 月 日	<b>記載者氏名(職種)</b>	( )
<b>住所</b>	〒		
<b>医療圏</b> (該当番号に○)	1. 賀茂 2. 熱海・伊東 3. 駿東・田方 4. 富士 5. 静岡 6. 志太榛原 7. 中東遠 8. 西部		
<b>TEL</b>		<b>FAX</b>	
<b>メールアドレス</b>			
<b>設置主体</b> (該当番号に○)	1. 公立 2. 日赤 3. 医療法人 4. 医師会 5. 看護協会 6. 社団法人・財団法人 7. 社会福祉協議会 8. 社会福祉法人 9. 協同組合・連合会 10. 農業協同組合連合会・農協共済 11. 株式会社・有限会社・合同会社等営利法人 12. 特定非営利法人 13. その他 ( )		
<b>同一法人の併設医療機関</b> (該当項目に○)	1. あり → 病院のみ ・ 診療所のみ ・ 両方 2. なし		
<b>同一法人が行っている事業</b>	I. あり (該当する番号すべてに○) 1 訪問介護 2 訪問入浴介護 3 訪問リハ(医療機関) 4 療養通所介護 5 通所介護 6 通所リハ 7 福祉用具貸与 8 短期入所生活介護 9 短期入所療養介護 10 ケアハウス 11 グループホーム 12 居宅介護支援 13 小規模多機能居宅介護 14 特別養護老人ホーム 15 老人保健施設 16 看護小規模多機能居宅介護 17 定期巡回・随時対応 18 介護医療院 19 サービス付き高齢者専用住宅 20 その他 ( )  II. なし		
<b>サテライトの設置について</b> (該当番号に○)	1. すでに設置している 設置数 ( ) か所 2. 設置の意向なし 理由 ( ) 3. 設置の意向はあるが設置は困難、あるいは無理 理由 ( )		
<b>看護小規模多機能居宅介護事業所設置について</b> (該当番号に○)	1. すでに設置している 設置数 ( ) か所 2. 設置の意向なし 理由 ( ) 3. 設置の意向はあるが設置は困難、あるいは無理 理由 ( )		



<b>専門看護師 認定看護師 特定行為研修修了者 在籍状況</b>	1. いる → 領域・分野（ ）が（ ）人 2. いない
<b>研修計画状況</b>  (該当番号に○)	<b>内部研修の計画は</b> 1. ある      2. ない <b>外部研修への参加計画は</b> 1. ある      2. ない ----- <b>あると回答された方のみ</b> その研修先は 1. 静岡県訪問看護ステーション協議会      2. 静岡県看護協会 3. その他（ ） ----- <b>ないと回答された方のみ</b> その理由は （ ）
<b>看護学生実習の受 入れ状況</b> (該当番号に○)	1. 受け入れている 2. 受け入れていないが、受け入れる意向はある 3. 受け入れていない、受け入れる意向もない
<b>収支状況について</b>	<b>令和3年4月～令和4年3月末までの収支状況は</b> 1. 赤字      2. 黒字      3. 不明 ----- <b>赤字と回答された方のみ</b> その原因は （ ） <b>今後の事業所運営は</b> 1. 事業を拡大する      2. 現状を維持      3. 事業を縮小する

2. 利用者の状況 (令和4年6月1日～6月30日の1ヶ月)

利用者の 年齢・性別	年齢	0～15歳	16～39歳	40～64歳	65～74歳	75～99歳	100歳以上	計
	男	人	人	人	人	人	人	人
	女	人	人	人	人	人	人	人
保険別の 利用者数・ 訪問回数		介護保険		医療保険		その他 (自費・申請中等)		計
	利用者総数	人		人		人		人
	延べ訪問回数	回		回		回		回
介護保険 利用者 (内訳)		要支援	要介護					計
		1・2	1	2	3	4	5	
	利用者数	人	人	人	人	人	人	人
延訪問回数	回	回	回	回	回	回	回	

訪問看護指示書の発行元	病院（ ）人、診療所（ ）人、在宅専門医（ ）人
6月1か月の新規利用者について	新規利用者数 人 ----- 依頼の紹介ルートは 居宅介護支援事業所（ ）人、地域包括支援センター（ ）人 病院（ ）人、診療所（ ）人、老健・特養（ ）人 利用者・利用者家族（ ）人、他のステーション（ ）人、その他（ ）人
6月の訪問終了者数	人
在宅での看取り人数	令和3年度中（ ）人 自宅（ ）人、グループホーム（ ）人、サ高住（ ）人、 有料老人ホーム（ ）人、養護老人ホーム（ ）人、軽費老人ホーム（ ）人 特別養護老人ホーム（ ）人、小規模多機能居宅介護（ ）人、 看護小規模多機能居宅介護（ ）人

医療処置の対応概況	インスリン	可 ・ 不可
	点滴・静脈注射・持続皮下注射	可 ・ 不可
	中心静脈栄養	可 ・ 不可
	在宅自己腹膜灌流	可 ・ 不可
	ストーマケア	可 ・ 不可
	在宅酸素療法	可 ・ 不可
	人工呼吸器	可 ・ 不可
	気管カニューレ	可 ・ 不可
	吸入・吸引	可 ・ 不可
	服薬	可 ・ 不可
	経管栄養（経鼻・胃瘻・腸瘻）	可 ・ 不可
	褥瘡の処置	可 ・ 不可
	留置カテーテル（膀胱内・腎瘻・膀胱瘻）	可 ・ 不可
	ペインコントロール	可 ・ 不可
	リンパドレナージ	可 ・ 不可
在宅リハビリ（看護師による） (PT, OTによる)	可 ・ 不可	

### 3・対象者別対応状況

小児	対応	令和3年度中の訪問利用者の年齢・人数	計
	可・不可	1歳未満（ ）人、1～6歳（ ）人、7～15歳（ ）人 16歳以上（ ）人	人
難病	対応	令和3年度中の訪問利用者の年齢・人数	計
	可・不可	1～15歳（ ）人、16～39歳（ ）人、40～64歳（ ）人 65～74歳（ ）人、75～99歳（ ）人、100歳以上（ ）人	人
悪性新生物	対応	令和3年度中の訪問利用者の年齢・人数	計
	可・不可	1～15歳（ ）人、16～39歳（ ）人、40～64歳（ ）人 65～74歳（ ）人、75～99歳（ ）人、100歳以上（ ）人	人
精神疾患 (精神科医からの指示)	対応	令和3年度中の訪問利用者の年齢・人数	計
	可・不可	15～39歳（ ）人、40～64歳（ ）人、65～74歳（ ）人 75～99歳（ ）人、100歳以上（ ）人	人



4. 令和3年度看護職員（保健師・助産師・看護師・准看護師）の就業・求人状況

看護職員の 新規就業者数  (令和3年度 1年間)	<b>常勤者数</b>	人 うち新卒者の採用 ( )人
	看護師の経験年数	1年未満 ( )人、1～3年 ( )人、4～9年 ( )人 10年以上 ( )人
	訪問看護の経験	経験あり ( )人 経験なし ( )人
	就業前の職場	病院・診療所 ( )人、介護施設 ( )人 その他 ( )人 具体的に記載 ( ) 無職 ( )人
	採用方法	ナースセンター ( )人、ハローワーク ( )人 求人情報誌 ( )人、紹介 ( )人 その他 ( )人
	<b>非常勤者数</b>	人
	看護師の経験年数	1年未満 ( )人、1～3年 ( )人、4～9年 ( )人 10年以上 ( )人
	訪問看護の経験	経験あり ( )人 経験なし ( )人
	就業前の職場	病院・診療所 ( )人、介護施設 ( )人 その他 ( )人 具体的に記載 ( ) 無職 ( )人
	採用方法	ナースセンター ( )人、ハローワーク ( )人 求人情報誌 ( )人、紹介 ( )人 その他 ( )人
	求人状況 (令和4年 6月30日 現在)	常勤職員
非常勤職員		名
求人方法（該当する番号に○、複数可）		1 ナースセンター 2 ハローワーク 3 求人情報誌 4 その他 ( )

5. 令和3年度看護職員（保健師・助産師・看護師・准看護師）の退職状況

看護職員の 退職者について  (令和3年度の 1年間で)	<b>常勤職員数</b>	人
	勤続年数内訳	1年未満（ ）人、1～2年（ ）人、2～3年（ ）人 3～5年（ ）人、5年以上（ ）人
	退職理由 該当項目全て (複数回答可)	1. 出産・育児（ ）人 2. 結婚（ ）人、 3. 定年（ ）人 4. 本人の健康問題（ ）人→具体的に記載（ ） 5. 家族の健康問題（ ）人→具体的に記載（ ） 6. 転居（ ）人、 7. 進学（ ）人 8. 人間関係（ ）人→具体的に（ ） 9. 訪問看護が合わない（ ）人 →どのようなところが合わないか具体的に記載 （ ） 10. 勤務時間が長い・超過勤務が多い（ ）人、 11. 休暇がとれない（ ）人 12. 携帯当番の負担が大きい（ ）人 13. 給与に不満（ ）人 14. 責任の重さ・医療事故への不安（ ）人 15. 利用者からの暴言暴力（ ）人 16. その他（ ）人 具体的に理由を記載 （ ） 17. 新型コロナウイルス感染拡大のため（ ）人
	退職後の動向	病院・診療所（ ）人、介護施設（ ）人、 他のステーション（ ）人、その他（ ）人→具体的に（ ） 不明（ ）人
	<b>非常勤職員数</b>	人
勤続年数内訳	1年未満（ ）人、1～2年（ ）人、2～3年（ ）人 3～5年（ ）人、5年以上（ ）人	
退職理由 該当する項目全て	1. 出産・育児（ ）人、2. 結婚（ ）人、3. 定年（ ）人 4. 本人の健康問題（ ）人→具体的に記載（ ） 5. 家族の健康問題（ ）人→具体的に記載（ ） 6. 転居（ ）人、 7. 進学（ ）人 8. 人間関係（ ）人→具体的に（ ） 9. 訪問看護が合わない（ ）人 →どのようなところが合わないか具体的に記載 （ ） 10. 勤務時間が長い・超過勤務が多い（ ）人、 11. 休暇がとれない（ ）人 12. 携帯当番の負担が大きい（ ）人 13. 給与に不満（ ）人 14. 責任の重さ・医療事故への不安（ ）人 15. 利用者からの暴言暴力（ ）人 16. その他（ ）人 具体的に理由を記載 （ ） 17. 新型コロナウイルス感染拡大のため（ ）人	
退職後の動向	病院・診療所（ ）人、介護施設（ ）人 他のステーション（ ）人、その他（ ）人→具体的に（ ） 不明（ ）人	

## 6. 利用者からのハラスメントについて

この2年間（令和2年4月～令和4年3月まで）の訪問で、精神的暴力・身体的暴力・セクシャルハラスメント等を受けたことは

精神的暴力	1. ある	2. ない
身体的暴力	1. ある	2. ない
セクシャルハラスメント	1. ある	2. ない
内容について (具体的に記入)		
① ハラスメントをした利用者・ 家族への対応	①	
② その後の訪問はどうしたのか	②	

## 7. 管理者について

看護師経験年数（通算）	年
うち訪問看護経験年数	年
訪問看護の管理者経験年数	年

## 8. 新型コロナウイルス感染症による影響について

感染拡大前と比べ 新規利用者数は	1. 変わらない    2. 減った    3. 増えた 考えられる理由は ( )
訪問回数は	1. 変わらない    2. 減った    3. 増えた 考えられる理由は ( )
利用者の感染状況	1. 発生した    2. 発生しない 感染した利用者の年齢 65才以上 ( )人、65才未満 ( )人
感染した患者の新規依頼に ついて	1. 断った    2. 受けた    3. 依頼はなかった 受けた人数は ( )人 断った理由は ( )
利用者への感染症の影響に ついて (任意、自由記述)	
感染拡大で事業所が困った こと (任意、自由記述)	
スタッフの感染・濃厚接触 者は	1. 発生した    2. 発生していない 発生した人数は ( )人 事業所の休止は 1. あった    2. なかった
感染症マニュアルやBCPの 作成	1. 作成していない 2. 令和3年度に作成した 3. 以前より作成している 4. これから作成予定